予算特別委員会（第1号）

- 1 招集月日 平成28年3月11日（金）
- 2 招集場所 占冠村議会議場
- 3 開 会 平成28年3月16日（水） 午前10時
- 4 出席委員 予算特別委員長 木村一俊君
 予算特別副委員長 大谷元江君
 予算特別委員 工藤國忠君
 ” 長谷川耿聰君
 ” 山本敬介君
 ” 五十嵐正雄君
 ” 佐野一紀君

5 会議事件説明のため出席報告のあった者の職及び氏名
 （長部局）

占冠村長	中村博	副村長	堤敏満
会計管理者	小林潤	総務課長	田中正治
企画商工課長	松永英敬	保健福祉課長	小尾雅彦
福祉施設推進室長	中田芳治	産業建設課長	岩谷健悟
トマム支所長	多田淳史	総務担当主幹	蠣崎純一
職員厚生担当主幹	細川明美	財務担当係長	野原大樹
税務担当主幹	佐久間敦	税務担当係長	杉岡裕二
企画担当係長	佐々木智猛	商工観光担当主幹	後藤義和
広報担当主幹	森田梅代	戸籍担当主幹	石坂勝美
国保医療担当主幹	上島早苗	社会福祉担当主幹	高桑浩
保健予防担当主幹	松永真里	介護担当主幹	木村恭美
農業担当主幹	阿部貴裕	土木下水道担当主幹	岡崎至可
建築担当主幹	嵯峨典子	建築担当係長	橋佳則
水道担当主幹	小林昌弘	環境衛生担当主幹	平岡卓
林業振興室主幹	鈴木智宏		

（教育委員会）

教育長	藤本武	教育次長	伊藤俊幸
学校教育担当主幹	小瀬敏広	社会教育担当係長	竹内清孝

（農業委員会）

会 長	安田堅吾	事務局 長	岩谷健悟
-----	------	-------	------

（選挙管理委員会）

書記 長 田中正治

（監査委員）

監査委員	鷺尾心英	監査委員	山本敬介
------	------	------	------

事 務 局 長 尾 関 昌 敏

6 職務のため出席した者の職及び氏名

事 務 局 長 尾 関 昌 敏 主

任 八 木 香 織

7 付議事件

- (1) 平成28年度占冠村一般会計予算
- (2) 平成28年度占冠村国民健康保険事業特別会計予算
- (3) 平成28年度村立診療所特別会計予算
- (4) 平成28年度占冠村簡易水道事業特別会計予算
- (5) 平成28年度占冠村公共下水道事業特別会計予算
- (6) 平成28年度占冠村介護保険特別会計予算
- (7) 平成28年度占冠村後期高齢者医療特別会計予算
- (8) 平成28年度占冠村歯科診療所事業特別会計予算

開会 午前10時

◎委員長あいさつ

○委員長（木村一俊君） おはようございます。開会に先立ち一言ご挨拶申し上げます。

本日はみなさまの温かいご協力をいただき、平成28年度予算特別委員会の進行に努めたいと思います。よろしくお願いいたします。

◎開会宣告

○委員長（木村一俊君） ただいまの出席委員は7人です。定足数に達しておりますので、ただ今から予算特別委員会を開会します。

本日の予算特別委員会における傍聴につきましては、これを許可して行います。

これから本日の会議を開きます。

○委員長（木村一俊君） 本委員会に付託されました議案第21号、平成28年度占冠村一般会計予算の件から議案第28号、平成28年度占冠村歯科診療所事業特別会計予算までの件の審査を行います。

予算審査にあたっては議事の進行上、別途配布の議事日程により行います。

内容説明については、すでに本会議において説明を受けておりますので省略したいと思います。

ご異議ありませんか。

（「異議なし」の声あり）

○委員長（木村一俊君） 異議なしと認め、説明については省略します。

委員並びに説明員にあらかじめお願いいたします。審議中の質疑、答弁につきましては、要点を明確にし、簡潔にご発言くださいますようお願いいたします。なお、質問者の発言内容については、会議規則第67条の規定により、質疑の回数を制限しないでこれを行います。

◎議案第21号（歳入）

議案第21号、平成28年度占冠村一般会計予算の件を議題にします。

これから質疑を行います。質問者はページ数、款・項・目を明らかにし、発言してください。

はじめに歳入全般についての質疑を行います。ページ数で言いますと11ページから29ページ、1款、村税から21款、村債についての質疑を行います。質疑はありませんか。

4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） それでは一般会計の歳入について何点か質問をさせていただきます。前回、総務課長の説明にもありましたけども、多少重複する点があると思いますけど、そのへんご了承願います。

それでは何点かありますので、ゆっくり申し上げますのでお願いしたいと思います。

15ページ、6款、地方消費税交付金、1項、1目、地方消費税交付金です。これ前年度と比較して850万円の増であるが、これにつきましては今後予定されている消費税10%となった場合の増額分と考えていいのか、これについての説明をお願いいたします。

○委員長（木村一俊君） 質問は歳入全部お願いします。

○4番（長谷川耿聰君） それでは次に16ページ、10款、地方交付税、1項、1目、地方交付税、これは2億ほど増額を見積もっておりますが、根拠をいま一度わかりやすくご説明をお願いしたいと思います。これは昨年と比較するとこれだけ増額しているということでございます。

それから18ページ、13款、使用料及び手数料、1項の使用料、8目の教育使用料ですが、前年より20万円減額いたしております。これの根拠についてご説明をお願いいたします。

同じく18ページの14款、国庫支出金、1項の国庫負担金の1目、民生費国庫負担金、それから1節の社会福祉費国庫負担金ですか、国保基盤安定

国庫負担金が前年より65万円ほど増になっております。合わせて20ページの15款、道支出金、1項、道負担金、1目、民生費道負担金、1節、社会福祉費負担金の国庫基盤安定道負担金が約120万円増になっております。このことについての説明をお願いいたします。

次に19ページ、14款、国庫支出金、2項、国庫補助金、4目、土木費国庫負担金、2節、住宅管理費補助金、社会資本整備総合交付金の利用の内容についてご説明をお願いします。

次に同じく19ページ、14款、国庫支出金、2項、国庫補助金、5目、農林業費国庫補助金、2節、林業費国庫補助金、山村活性化支援対策交付金500万の交付目的と村の利用の事業予定はいかなものかお伺いしたいと思います。

次に21ページ、15款、道支出金、2項、道補助金、4目の農林業費道補助金、1節の農業費道補助金、これは環境保全型農業直接支援対策事業道補助金と機構集積支援事業補助金について、その事業の内容をご説明願います。なおこれに関連いたしまして、農業生産法人の動向ですが、農地の集約についての基本的な考え方がありましたらご説明願いたいと思います。

次に22ページと23ページにかけてですが、16款、財産収入、1項、財産運用収入、1目、財産貸付収入、1節、土地建物貸付収入と2節の土地建物貸付収入滞納繰越分ですが、これは地域振興住宅ですか、楓Aの共益費とその滞納分が計上されているわけですが、昨年まで雑入の項目にあったのが、本年度から財産収入の方に編入された理由。また、その違いはどのようなものかお伺いいたします。電気料だとか水道料だとか灯油代だとかが共益費の対象となると考えられます。このへんについてもお伺いしたいと思います。

次に23ページの16款、財産収入、2項、財産売払収入、3目、生産物売払収入、1節、生産物売払収入、これは木炭売払収入でございまして70万

の計上ではありますが、調べてみますと平成25年、平成26年は60万円の予算計上、それぞれ48万8650円、31万8350円の実績であります。70万円の算出根拠は少しオーバーでないかと思いますが、このへんについてお伺いいたします。

次に26ページ、20款、諸収入、5項、雑入、1目、雑入、1節、雑入、ふれあい訪問サービス使用料は平成27年度の予算では占冠介護保険特別会計の歳入、雑入になられておりますが、一般会計に計上された理由についてお知らせ願います。

同じく27ページの20款、5項、1目、1節、雑入ですが、後期高齢者歯科検診事業の内容を説明していただきます。

同じく27ページの20款、5項、1目、1節、雑入ですが、いきいきふれあい推進事業の内容説明と昨年より100万円ほど増額になった理由についてお伺いいたします。

最後に29ページ、21款、村債、1項、村債、4目、観光債、1節の過疎対策事業債ですが、トマム給油所の改修工事等々がございますが、これについては昨今もいろいろな説明がございましたが、今後の具体的な取組みとその内容についてお伺いいたします。以上です。

○委員長（木村一俊君） 総務課長、田中正治君。

○総務課長（田中正治君） 予算書の15ページ、6款の地方消費税交付金についてご回答申し上げたいと思いますが、10%分かというお尋ねですが、地方消費税につきましては、平成28年度中は8%のままでございます。

増額の理由でございますけど、昨年度4月から8%が導入されまして、昨年度は3月中の駆け込み需要だとかそういったことと、併せて9カ月分の収入しか見込めなかったということで、今回850万の増額については、年間を通しての収入額が見込めるということから増額計上をさせていただいております。

それから地方交付税の増額でございます。これ

は16ページになりますけれども、普通交付税1千万の増額を見込んでおりますけれども、それぞれの交付税の中身については試算をさせていただきました。大きく増額になる項目はないわけですが、試算の結果、社会福祉費で113万ほどの増額、林野水産行政費の中で304万ほどの増額が見込めます。それから地域振興の中で211万3千円が見込めるということで、平成28年度の単位費用の単価で試算をした結果、そういった増額が見込める項目がありますが、一方で減る項目も多くあるわけです。これらの財政需要額が13億3044万7千円と試算してございます。

これと併せて公債費の償還金がプラスされますので、公債費の中で臨時財政対策債が100%補填をされるということもありまして、差引で727万5千円の増額が見込めます。そして公債費の総額が2億2166万2千円ということで、合わせますと本村の基準財政需要額が15億5210万9千円ということになりまして、これから税などの基準財政収入額を差し引きます。それで収入額が3億800万円。これが差し引いた結果が11億5710万9千円という試算が成り立ちます。

したがって、全額を歳入として見込むというのは実際に交付税算定をしなければ難しいわけでありまして、11億5710万9千円の試算がありますけれども、本予算におきましては、11億円を普通交付税として見込んでいるということでございます。

それから特別交付税につきましても、1千万円の増額を見込んでありますが、昨年度の実績にプラスすることの地域おこし協力隊の増員含めてこれらの経費が特別交付税で算定されるということでございますので、1千万円を増額しまして、それぞれ普通交付税、特別交付税1千万を増額して、昨年度に比較しますと2千万円増の12億1800万円という収入額を見込んでございます。以上です。

○委員長（木村一俊君） 保健福祉課長、小尾雅

彦君。

○保健福祉課長（小尾雅彦君） 18ページの14款、1項、1目、民生費国庫負担金、1節内の国保基盤安定国庫負担金及び、次ページの国保基盤安定道負担金の件ですが、この国庫負担金、道負担金の内容ですが、保険料の軽減措置に対しまして、支援率の改正がありました。これまで7割、5割、2割の軽減世帯に対して支援率がそれぞれ取り決められていましたが、平均保険料の算定率にそれぞれ7割、5割、2割の支援率がそれぞれアップしたことによりまして増額計上となっております。

26ページの20款、5項、1目、雑入内のふれあい訪問サービス利用料、6万4千円の計上ですが、これは従前までは介護保険の雑入で取り扱っていた歳入ですが、これにつきましても平成28年度から総合事業に移行されるということで、担当が変わりまして、社会福祉の方で担当することになるので、事業の継続に変わりはありません。

それと同じく、雑入内の後期高齢者の歯科検診事業の補助金の11万6千円の計上についてです。これにつきましても、後期高齢者の歯科検診という業務を新たに歯科診療所で取組むことによりまして、高齢者の口腔歯科の予防に努めるということで新規に行うものでございます。経費の内容としましては、補助金として3900円かけることの26件で10万1400円、それと事務補助金として1万5200円を受けるものでございます。以上です。

○委員長（木村一俊君） 産業建設課長、岩谷健悟君。

○産業建設課長（岩谷健悟君） まず19ページの14款、2項、4目の2節、住宅管理費補助金で社会資本整備総合交付金ですけども、これについては千歳団地の1棟4戸の外壁等の補修工事を行う予定であります。

同じく5目の2節、林業費国庫補助金、山村活性化支援対策交付金、これについては平成27年度から行っておりますカエデ樹液に係る部分の交付

金で、これについても3年事業の見込みで平成28年度が2年目となる方に500万の充当を見込んでおります。

続きまして21ページ、15款、2項、4目の農林業費道補助金で1節、農業費道補助金の環境保全型農業直接支払対策道補助金、これについては無農薬野菜というか、減農薬に取り組んでいる農家が1件ありますので、ここに係る補助金になります。

機構集積事業補助金36万5千円につきましては、農地ナビシステムのデータ更新に係る補助金であります。

続きまして、22ページ、23ページで16款、1項、財産運用収入の財産貸付収入で地域振興住宅風の共益費が財産収入になるのかということです。昨年までは雑入で見込んでいたものでありますけども、やはり住宅に係る部分もありますし、共益費、水道料ですとか燃料代、あと下水道等も使用しているという部分で、今回こちらの財産貸付収入の方に科目を変えさせていただいております。

23ページの16款、2項、財産売払収入で3目、生産物売払収入、1節の生産物売払収入、木炭売払収入が過大に見込みじゃないかというご質問かと思っておりますけども、一応売り先等を見込みまして70万円計上させていただいております。この予算に合うような売り込みをしていきたいと考えております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 企画担当係長、佐々木智猛君。

○企画担当係長（佐々木智猛君） 長谷川議員からのご質問にお答えいたします。27ページをお開きください。20款、諸収入、5項、雑入、1目、雑入のいきいきふるさと推進事業でございます。平成28年度は移住促進にかかります北海道暮らしフェアで60万円、サイクルツーリズム推進事業で100万円の2事業で合計160万円を計上しております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 商工観光担当主幹、後藤義和君。

○商工観光担当主幹（後藤義和君） 長谷川議員からの質問に答えさせていただきます。29ページ、21款、村債、1項、村債、4目、観光債、1節、過疎対策事業債としまして、トマム給油所改修工事ということで1590万円を計上させていただいております。運営の具体的な内容についてということですが、昨年8月31日の総務産業常任委員会の中でご説明させていただいておりますとおり、平成28年度につきましては、給油施設の改修工事とタンクの点検について取組みたいと考えております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 教育次長、伊藤俊幸君。

○教育次長（伊藤俊幸君） 18ページ、13款、1項、使用料、8目、教育使用料、1節、コミュニティプラザ使用料についてでございますが、20万円の減でありますけども、これにつきましては前年度実績の見込み額により、20万円の減としております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑ありませんか。

○4番（長谷川耿聰君） 大体分かりました。地方交付税についての説明がありました、よく分かりました。今後の見通しについて答えられる範囲内でひとつお願いいたします。

それから13款の使用料及び手数料、教育次長から説明がありましたけど、20万円を減とした根拠を聞き取れなかったのもう一度ご説明をお願いいたします。

それから27ページ、20款、諸収入の5目、雑入のいきいきふるさと推進事業の内容の説明が漏れていたような気がするのでもう一度お願いいたします。これだけお願いいたします。

○委員長（木村一俊君） 教育次長、伊藤俊幸君。

○教育次長（伊藤俊幸君） コミュニティプラザ使用料の20万円減の根拠でありますけども、前年度実績に基づきまして、平成28年度のコミュニテ

イプラザの使用料を50万円と計上させていただきました。以上です。

○委員長（木村一俊君） 企画担当係長、佐々木智猛君。

○企画担当係長（佐々木智猛君） 長谷川議員のご質問についてです。27ページ、20款、5項、雑入のいきいきふるさと推進事業についてです。平成28年度は、移住促進に係ります北海道暮らしフェア60万円と、サイクルツーリズム推進事業100万円の2事業合計160万円を計上してございます。以上です。

○委員長（木村一俊君） 総務課長、田中正治君。

○総務課長（田中正治君） 地方交付税の今後の見通しということでご質問がありました。私の口からは何とも言えませんが、基本的には、地方財政計画の中では前年度並みを確保するといった文言が見られますけれども、現実問題はやはり前年に比較しますと若干減少傾向にあるということは否めないと思います。その中で地方創生なり、色々な特化した事業に財源が振り分けられていくのだらうと思いますけれども、併せて、国の財政状況によっては地方交付税に与える影響も大きいということは想定できるかと考えております。

したがって、今ある地方交付税がずっと続くということにはならないかと現状では踏まえております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑ありませんか。

○4番（長谷川耿聰君） いきいきふるさと推進事業ですか、この事業の内容がどのようなことをやるのか、具体的に知りたいです。予算がついたのはいいのですが、もうちょっと細かく事業の中身を説明してください。

○委員長（木村一俊君） 企画担当係長、佐々木智猛君。

○企画担当係長（佐々木智猛君） 長谷川議員の質問について答えさせていただきます。

1つ目の移住促進に係ります北海道暮らしフェ

ア60万円についての内容です。こちら東京・大阪・名古屋の人口が多い3地区で北海道占冠へ移住したい、ちょっと暮らしをしたいという方に対しての占冠村のPR事業となっております。

サイクルツーリズム推進事業につきましては、平成27年度から道の駅で自転車を貸して、交流人口を広めよう、自転車をすすめようという事業となっておりますので、こちらも平成28年度は自転車を使って道の駅で貸して、観光振興に努めようとする事業でございます。以上です。

○委員長（木村一俊君） 4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） もう一点だけ、トママ給油所のことです。トママ給油所についてはトママの住民の方々が待ちに待った需要です。当初は、買収当時はそんなに計器類の大きな改修工事もなく、そのまますぐ使えるような感じで確か買収したと思いますけれども、実際にやってみると多額の修理費がかかり、しかも、現状において指定管理で任せたいというようなことなのにそれもまだはっきり決まっていないということです。どうしてこのようなことになったのか、そのへんを具体的にご説明願いたいのと、これから給油所ですからいろいろと修理費がかかると思うので、そのへんも合わせてお答え願いたい。

実際に開業はいつできるのか、先ほど申し上げたようにトママの方々が非常に待っております。もうちょっと見通しをきちんと立ててやるのが村政だと思います、行政だと。その都度その都度、ぶつかっては直し、ぶつかっては直しをしておそらく来年まで開業できないのではないかと思います、そのへんを担当の方、どのように考えているのかももう一度ご説明願います。

○委員長（木村一俊君） 商工観光主幹、後藤義和君。

○商工観光担当主幹（後藤義和君） 長谷川議員からの質問にお答えさせていただきます。

8月の総務産業常任委員会の際にも修繕に係る

経費につきましてはご説明申し上げておまして、1千万円程度と見込んでございます。

運営の母体につきましては、現在、様々な方面で協議中でございます。

開始時期につきましては、まだ見通しは立っておりません。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑ありませんか。4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） 修理費がかかるのはしょうがないので、これは良いと思います。開始時期が全然分からないって言うのだけれど、いつ修理が終わるのですか。修理が終われば開業できると思います。その見通しは全然立たないのですか。どういう計器がどういうふうに壊れて、このへんは危険物の工事だからわかりませんが、修理費が出た以上は、どこを修理すれば実際に使えると、こういう計画が立てられると思います。それがわからないという、そんな話はないと思いますが、そのへんもう一度説明願います。

○委員長（木村一俊君） 商工観光担当主幹、後藤義和君。

○商工観光担当主幹（後藤義和君） 長谷川議員からのご質問に答えさせていただきます。

修繕の内容につきましては、計量器の交換工事、油面計設置工事、ポス設置工事、レジスターのようなものです。あと、その他諸経費ということで計上させていただいております。

運営の母体につきましては、ただいま協議中でございますので、明確な開始時期というのはなかなか今後の進めによってまいりますので、よろしくお願ひしたいと思います。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑ありませんか。6番、五十嵐正雄君。

○6番（五十嵐正雄君） 一点だけ質問いたします。23ページの財産収入の2項、財産売払収入の1目の不動産売払収入の2節の立木売払収入の中の、間伐材売払収入で895万2千円計上されてい

るわけですが、ここの基盤、きっと何カ所かだと思うので、そのカ所数と面積及びその植栽年度、それと間伐の方法、列条間伐なのか、定量間伐なのか、そのへんの中身について教えていただきたいと思ひます。

○委員長（木村一俊君） 産業建設課長、岩谷健悟君。

○産業建設課長（岩谷健悟君） 間伐材売払収入ですが、場所的には中トマム等を予定しております。ちょっと詳細な場所、面積、植栽年度につきましてはお時間いただきたいと思ひます。

○委員長（木村一俊君） 答弁調整のため暫時休憩いたします。

休憩 午前10時40分

再開 午前10時42分

○委員長（木村一俊君） 休憩前に続きまして会議を開きます。

産業建設課長、岩谷健悟君。

○産業建設課長（岩谷健悟君） 場所につきましては、中央の鬼峠、ホロカトマム、中トマム、タンネナイの場所になります。面積として53.47ヘクタール、間伐方法については列条間伐となります。

林齢につきましては、中央の鬼峠のところでは36年生のところ、51年生のところ。ホロカトマムにつきましては、33年、29年となっております。中トマムにつきましては73年、タンネナイにつきましては32年生、34年、63年という林齢となっております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 6番、五十嵐正雄君。

○6番（五十嵐正雄君） 植栽年度についてはかなりバラつきがありますが、これは当然2回目の間伐とか、植栽年度によっては大体30年超えていますから、初回間伐と2回目間伐ぐらいが入ってくるし、73年、中トマム、73年経っていることはかなり今まで放置されていたのか、それとも最終間伐なのか、そのへんが見えてきません。

結構、大径木等があるというふうには想定されません。

森林組合等で民有林の間伐等の実態を見ると、数量確保のために、列条間伐以外のところで、数量確保のためにかなり過伐気味にやられているという実態があります。当然、村有林についてはそれぞれ担当者もおられますから、かなりきめ細かな施業がされるのだらうと思っております。

今回、事業体の育成の中で議論を、この間やってきましたけども、やはりせっかくこれだけの事業をやって地元の事業体が入る、関連事業体が入るとなれば、村としてやはり民有林の間伐のいろいろな問題点、それぞれ村の方でも分かっていると思いますから、できればこの中で事業体の指導をきちんとやって、間伐ってというのはこういうふうにやるものだというをまず村有林で事業体に働く人も含めてやり方を理解させて、その中で民有林等の間伐にも影響できるようにしていきたい。

とりわけ森林組合の担当も、技術的な問題もあるのでしょうけども、事業体任せとか、実際にはそういった収入を合わせるために、かなり無理な施業がされているというのは民有林ではあるわけです。

ですからこのへんについては、今申しましたように、村有林の中でこれだけの事業をやるわけですから、ぜひ事業体の指導を併せてやっていただきたいと考えています。以上です。

○委員長（木村一俊君） 産業建設課長、岩谷健悟君。

○産業建設課長（岩谷健悟君） 今回の間伐の場所等については、林業専門員もおまして、現地を把握した中で今回予算、面積等を計上させていただいております。

事業体の育成におきましても、村有林におきましては、ここ数年来現場に出向いて事業体の指導等を行って、施業方法ですとかそういった部分に

つきましても、細かい中でありまして指導を行っているという状況にあります。平成28年度におきましても、同じような方向で育成に努めていきたいと考えております。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑ありませんか。5番、山本敬介君。

○5番（山本敬介君） いくつかお伺いしたいと思います。

20ページ、14款、国庫支出金、3項、教育費委託金、3目、3節、少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育推進事業委託金の200万円ですが、この内容についてお伺いしたいと思います。

続きまして21ページです。15款、道支出金、2項、道補助金、6目、教育費道補助金、2節、学校支援地域本部事業で26万円計上されておりますが、コミュニティスクールが始まったあとの、この学校支援地域本部事業との関連性と言いますか、内包されるものではなく別事業としてあるのか、そのあたりのことをお伺いしたいと思います。

続きまして24ページです。18款、繰入金、1項、4目、1節、農業振興基金繰入金の内容を、詳細をお伝えください。

その2行下、6目、環境保全と観光振興基金の繰入金、これについても詳細をお知らせください。

続きまして、27ページ、20款、諸収入、5項、1目、1節、雑入の中の真ん中から少し下あたりですが、英会話教室資料代で50万円ありますけども、これについて詳細をお知らせください。

その下の入猟承認料の50万、これについても人数の想定等をお知らせください。

28ページ、21款、村債、1項、3目、農林業歳、3節、過疎対策事業債の林業専用道鬼峠支線開設工事ですけども、この場所等を少し詳細にお知らせいただきたいと思います。

あと、委員長にお願いしたいのですが、先ほどの答弁の中で、総務産業常任委員会で説明していましたがという答弁がありましたけど、予算特

別委員会でわざわざ総務産業常任委員会で聞かれていることも聞くことによって、住民のみなさんに詳細をお伝えしたいという思いで議員の方は聞いております。議員がわざわざここで質問しているということを、ぜひ汲み取って詳細な答弁をお願いしたいということで、委員長にお願いしたいと思っております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 承知いたしました。

教育次長、伊藤俊幸君。

○教育次長（伊藤俊幸君） 20ページ、14款、3項、3目の少子化・人口減少に対応した活力ある学校教育指針事業委託金の内容についてご説明申し上げます。この事業につきましては、平成27年度からの事業でありまして2年目ということがあります。これにつきましては、少人数であることを生かした個々に応じたきめ細やかな指導を計画的・継続的に行うことにより、子どもたちの社会性の育成や学力の向上に資することを目的として行っております。

この事業については文科省の事業でありまして、最長3年間の計画でありまして本年度が2年目の事業となります。内容につきましては、少人数の環境の中では身に付きにくいコミュニケーション能力や豊かな表現力の向上を図るための発表する能力を身に付けさせるための事業であったり、小学校での英語学習であったり、また個々の学習の定着を図っていくための確かな基礎学力を身に付けていくための事業としまして、土曜学習等の実施を行っております。

また、ICT教育環境の整備を図り、村内学校間の協力や大学等のネットワークの授業による教育活動の充実を図っていくといった内容であります。

21ページ、15款、2項の6目、学校支援地域本部事業費補助金の内容につきましては、コミュニティ事業はコミュニティ事業として進めておりますけど、学校支援本部事業は今までどおり継続し

て事業を進めていっております。学校支援地域本部につきましては、コミュニティスクールをやっているやっていないに関係なく、学校の授業に対する支援を行っていくためのものであります。

27ページ、20款、5項、雑入の中の英会話教室の資料代でありますけども、これにつきましては、英会話教室に参加される方から5千円を資料代としていただいております。その分であります。以上です。

○委員長（木村一俊君） 総務課長、田中正治君。

○総務課長（田中正治君） 24ページの繰入金についてご説明申し上げます。まず、農業振興基金の繰入でございますが、4目の農業振興基金繰入金の内訳としましては、まず農業振興費で農業振興・新規就農等支援対策補助金ということで1629万円、それから家畜診療所補助金に80万円、畜産振興費に家畜導入資金貸付金155万円、農業改善構造事業費にニノウキャンプ場修繕に300万円、自然活用村施設管理委託料に630万円、ニノウキャンプ場備品整備費に10万円を繰り入れてございます。

次に環境保全と環境振興基金、821万3千円ですが、赤岩青巖峡環境整備事業委託金に充当額が6万3千円、サケマスなど魚を育む事業補助金に150万円、観光協会運営補助金に665万円をそれぞれ繰り入れてございます。以上です。

○委員長（木村一俊君） 産業建設課長、岩谷健悟君。

○産業建設課長（岩谷健悟君） 27ページ、20款、5項、雑入において入猟承認料50万円を計上させていただきます。これにつきましては、人数的には不確定なものもありますので、1カ月10万円で5カ月分を見込んでおります。

28ページの21款、1項、農林業債の過疎対策事業債で、林業専用道鬼峠支線開設工事の場所ということですが、ちょっと言葉で言っても分かり辛いと思っておりますので、のちほど地図の方を配布した

いと思いますけどよろしいでしょうか。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑ありませんか。5番、山本敬介君。

○5番（山本敬介君） 27ページの先ほどの英会話教室の資料代ですけど、これは5万円じゃなくて50万ですもんね。5千円っていうふうにおっしゃいましたけど、ということは100人分ってことになりませんが、それであっているのかどうかお伺いしたいと思います。

○委員長（木村一俊君） 教育次長、伊藤俊幸君。

○教育次長（伊藤俊幸君） 5千円かける100人分です。前期と後期で分かれていますので。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑ありませんか。1番、工藤國忠君。

○1番（工藤國忠君） 一点だけ、29ページ、先ほども長谷川議員の方でも質問がありましたけど、答弁の中では給油所の開設時期は分からないということですが、ちょっと不思議に思っています。

いつ頃から工事を始めるのか。そして使用開始時期は何月頃からなのかを明確に答弁願いたい。大体でもいいですから、時期だけをお聞きしたいと思います。

○委員長（木村一俊君） 商工観光担当主幹、後藤義和君。

○商工観光担当主幹（後藤義和君） 工藤議員からの質問に答えさせていただきます。まず工事の前にタンクの点検というのがございまして、このタンクの点検に1カ月ほどの所要が必要というふうに聞いております。そのタンクの点検の内容によりまして工事の内容も多少変わってくるところがございまして、工事の終了時期というのは今のところ明確な予定は立てられておりません。おおよそ秋ぐらいに終わるように進めたいとは考えております。以上です。

○商工観光担当主幹（後藤義和君） 工事の期間、それから検査の期間中に準備をして、工事終了時においては速やかに開設できるよう準備を進めて

まいりたいと考えております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 1番、工藤國忠君。

○1番（工藤國忠君） いつ頃から工事が始まるかってことを聞いていたのですが、大体いつ頃から始めるか。

工事中にいろいろとタンク点検とか言っていますが、それも全部初めからですね、いつ頃からそれに取り組むのか、ちょっとそのへんの時期がわかりません。

○委員長（木村一俊君） ここで午前11時15分まで休憩いたしたいと思います。

休憩 午前11時02分

再開 午前11時15分

○委員長（木村一俊君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

先ほどの工藤議員に対する答弁をいただきます。商工観光担当主幹、後藤義和君。

○商工観光担当主幹（後藤義和君） 工藤議員のご質問について答えさせていただきます。

まず雪解け後にタンクの点検の委託の業務を実施します。そのタンクの点検の結果によりまして、工事内容等が変わる可能性がありますので、現在のところ運営開始の時期ということについては明確な日程の調整はできない状況にあります。よろしく申し上げます。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑ありませんか。1番、工藤國忠君。

○1番（工藤國忠君） 今の答弁は分かりました。なるべく早い時期に計画書を作って、議会のほうに提出していただきたいと思います。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

◎議案第21号（歳出1款・2款）

○委員長（木村一俊君） 次に歳出についての質疑を行います。まず30ページから48ページ上段に

かけての1款、議会費及び2款、総務費について行います。

質疑はありませんか。4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） それでは歳出について何点か。まず31ページの2款、総務費、1項、総務管理費、1目、一般管理費、13節、委託料、新地方公会計制度の導入について、これについて説明願います。

もう一点、32ページにストレスチェック支援業務とありますが、これについて説明を合わせてお願いします。

次に34ページの2款、総務費、1項、総務管理費、4目、財産管理費、18節、備品購入費、これ一般備品購入費、昨年より550万円ほど多額な計上ではありますが、これについての内容についてお伺いしたいと思います。

次に36ページの2款、総務費、1項、総務管理費、6目、コミュニティセンター管理費、11節、需用費。昨年より約100万円多くなって、この修繕費の内容についてお伺いいたします。

次に39ページの2款、総務費、1項、総務管理費、7目、企画費、19節の負担金、補助及び交付金の事業継続奨励金を説明願いたいのと、ミナ・トナム運営補助金171万5千円、この内容についてご説明願いたいと思います。これも以前に説明あったかと思いますが、よろしくをお願いします。

次に39ページの2款、総務費、1項、総務管理費、8目、支所費、13節、委託料、上トナム地区公園整備について公園の具体的な内容、どのような公園を作るか、もしもこれが図面でも描かれていましたら、そのへんをお示し願いたいと思います。公園も非常に大切ですが、実際に公園よりも上トナム地区で求められているのは商店であると思います。このへんも併せてご見解をお願いいたします。以上です。

○委員長（木村一俊君） 総務課長、田中正治君。

○総務課長（田中正治君） まず31ページの新地

方公会計制度導入の委託料でございます。これにつきましては、新しい公会計制度ということで、財政書類等の公表が平成29年度に向けて義務付けられております。平成27年度におきましては、公有財産の基礎データを収集しまして、固定資産台帳を整備してございます。

それから平成28年度では、地方自治体の現金主義会計では把握できない資産や負債のストック情報、それから減価償却費などの現金支出を伴わないコストも含めたフルコスト情報を把握するために、既存の財務会計システムデータを発生主義型から複式簿記に変換する作業を行おうとするものでございます。

具体的な作業としては、財務会計システムから出したデータを公認会計士の指導のもとに仕分けをしまして、総務省の基準モデル使用の財務書類を作成していくということになります。また、次年度以降の財務書類作成においても、自分たちで作成できるよう占冠村仕様のマニュアルを作るといった内容のものでございます。

次に32ページのストレスチェックの委託料でございますが、これについても現代病といわれますメンタルヘルスに関わりまして、各50人以上の事業体においては、こういったメンタルヘルスのストレスチェックを義務付けられまして、この平成28年度にそれぞれ行います。毎年行うものですが、それを第三者機関で行って、その内容についてチェックをして報告を受けると、それに基づいて様々な対応をやっていくということになってございます。それらのストレスチェックの委託について計上をさせてもらったところでございます。

次の34ページの一般備品、内訳がいま手元がないものですから、ちょっと時間をいただきたいと思います。

それから36ページのコミセンの修繕料、従来の一般の修繕料の他に昨年まで50万ほど計上していましたが、今年は20万増やしまして、使用の目的

はありませんがトマム地域において必要が発生した修繕をより素早く迅速に解決をしてほしいということで、トマム支所長の権限で修繕をやるように予算を計上させてもらっています。

したがって、住民からのいろいろな修繕が支所に届きましたら、多くは、大きいものについては本庁からトマム支所に行って現場確認をして、それから事業を実施するという事務手続きが必要だったのですが、そこを省略しまして、軽微なものについてはトマム支所長の権限で修繕をして、地域の人に対して迅速に対応できるように計上したということで70万円ほど計上させてもらっていますので、その分が増えているかというふうに考えております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 企画担当係長、佐々木智猛君。

○企画担当係長（佐々木智猛君） 長谷川議員からのご質問について回答させていただきます。39ページ、2款、総務費、1項、7目、企画費、19節、負担金、補助及び交付金の事業継続奨励金の60万円についてです。こちら定住促進条例に基づきまして事業継続奨励金30万円を2件計上してございます。

続きましてミナ・トマム運営補助金につきましてです。内訳としましては、賃金、報償費、需用費、役務費、原材料費、備品購入費でありまして、運営に係る補助となります。以上です。

○委員長（木村一俊君） トマム支所長、多田淳史君。

○トマム支所長（多田淳史君） 議員のご質問にお答えします。

39ページ、2款、1項、8目、支所費の公園測量設計委託料についてです。これに関しましては、執行方針の方で村長の方も執行方針の中に取組まれていると思いますけれども、ミナ・トマム、それからトマムコミュニティセンター周辺に公園を作るということで、具体的にはまだ図面等はござい

ません。構想的には神社、それから現在パークゴルフ場になっているあの一帯について、自然を活用した中で、地域のお母さん方も活用できる、散歩できるような、そのような自然を活用した形の公園を整備しようということで、地域の方々といろいろとお話をしながら整備をしていくという予定でおります。

したがって、予算に関しましては、一応測量設計ということになっておりますが、中身的には地域でこれから話し合って具体的な形を作る上で、その形を設計工事に反映できるような形で委託しようということですので、そういう委託料になります。

それからもう一点、商店、ミナ・トマム、トマム地区の商店に関してですけど、商店に関しましては、現在ミナ・トマムの中で小規模ですけど、食品等々の販売を始めております。コンビニ等の誘致に関しましても、現在行ってはいただいていますけれども、トマム地区としては、町内会を中心としまして地域の方々に少しでもご不便をかけない形で商品を販売したりしていますので、それも含めてこれから進めてまいりたいと思っております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑ございませんか。

総務課長、田中正治君。

○総務課長（田中正治君） まず議員ご質問の答弁の中で、私の勘違いもございまして、ちょっと欄が違いましたですね、トマム支所の修繕費でコミュニティセンター管理費の部分の聞かれて、私答弁したのが支所費の修繕費だったようです。それで、先ほどご答弁申し上げましたのは支所費の修繕費とご理解ください。

コミュニティセンター管理費の修繕料につきましては、トマム支所の防災用の備蓄する場所がないということで、現施設を改修するために、防災の備蓄倉庫を改修して設置したいということと、L

ED化を行いたいということで、それらの経費について計上をさせていただいたという内容でございます。

それからもうひとつは備品購入費でございます、大きく増額されているというご質問でございます。備品購入につきましては、本年度村長車の購入をしたいということで計上させていただいております。

現在の村長車につきましては、平成12年に購入をいたしまして、年数が経過していることと併せて、走行距離が27万3千キロメートルということになっておりまして、修繕等の維持管理費もかかってきてございます。そういったことから車の入れ替えをさせていただきたいということで557万円の購入費を計上させていただきました。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑ありませんか。4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） ミナ・トマムの運営費補助、これはこれでよろしいですけど、これ一過性のものか、何年も続けるものか。

それともう一点、公園整備、これも別に公園整備が良いとか悪いとか、まあ悪いとかそういう議論でなくて、どうも支所の業務において不確定要素を予算に見積もってくると。ミナ・トマムをやったときも不確定要素でもって70万の議決をした経緯があります。今回も公園の全容が分からずに設計単価が出てくると。予算に載せる上においては、少なくともきちんとした図面が出て、それで使途金が何万円なりというようなことでやるのが当たり前だと思いますけど。

そのへんについて、予算に載せるものですから、はっきりとした事業の根拠をもって予算に載せるべきじゃないかと思っておりますけど、もう一度そのへんについて、ご見解をお願いいたします。

○委員長（木村一俊君） トマム支所長、多田淳史君。

○トマム支所長（多田淳史君） お答えいたします。設計に関しましては、先ほども申し上げましたが、当初、地域の方々の声をもとにしまして村長の方から公園化をしたいということで、については地域の中で公園化をぜひ進めてくれというお話をいただいて、検討を進めることになっております。

現段階では、先ほどの委託料の他に、その下段に整備委託費というのもあると思いますけど、大体の場所は提示しておりまして、その裏側、支所の裏側になりますが、その一帯をとという大まかなお話がありまして、その中で平成28年度、地域で話し合いながら具体的に進めてまいろうということになっています。

したがって、測量と言いましても、具体的に業者を入れて測量することのなるのか、私たちが実際に話し合っここからここまでの大体このくらいの面積でやりたいので設計をお願いしますという形になるのか、というが不確定な部分があります。

確かに議員ご指摘のことは問題かとは思いますが、この額全額を使って設計をするという趣旨のものではなく、地域の住民でできることは地域の中でやりながら、考えながら設計をしていきたいという考えですので、ご理解をいただきたいと思います。

○委員長（木村一俊君） 企画担当係長、佐々木智猛君。

○企画担当係長（佐々木智猛君） 長谷川議員からのご質問についてお答えします。

ミナ・トマムの補助金についてです。来年度以降ミナ・トマムにおきましては、NPO法人化するというお話を聞いております。買い物支援等もしていくとの事業計画も出ておりますので、自己資金は調達していただけるという想定で当面は補助をしていこうと考えております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑ありますか。

4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） 171万5千円ですか、これは良いです。これを毎年続けるか続けないか、今年だけで終わらせるものか、それとも、いろいろな要素を含みながら何年か続けるのか、それを簡単に説明願います。

それからもう一点。あの支所長、少なくとも新年度の予算に盛り込むのには、はっきりした数字をもって盛り込むのが通常、当たり前のことです。これから住民と説明して協議して出すなんてそういうものではない、基本的に。そのへん、きちっと覚えておいてもらわないと困ると思います。

だから例えば予算上の問題でも、雲をつかむようなもので、だいたい何千万くらい見ておけばいいという予算を見積もるものじゃない、基本的には。僕はそこを支所長の考え方をきちんと整理してもらわないと困ると思います。もう一度説明してください。

○委員長（木村一俊君） トナム支所長、多田淳史君。

○トナム支所長（多田淳史君） お答えいたします。先ほど申し上げたとおり、地域の方皆さんで作りに上げていくということで、このお金を予算計上させていただきました。

当初いきなり工事費ということで見積もった経緯もありますが、工事となると多額なお金もかかりますので、まずは地域で話し合いながらということでお金を計上させていただいております。

見積りが甘い、それから本来するべきではないという指摘もいただいておりますけども、トナム地域の中でこれからのいいものを作りたいということで取り進めてまいりたいと思いますので、ご理解をお願いいたします。

○委員長（木村一俊君） 企画担当係長、佐々木智猛君。

○企画担当係長（佐々木智猛君） 長谷川議員の質問についてお答えいたします。

明確に何年先までということは明言できませんが、自己資金の調達も検討いただきまして、できる限りの補助はしていきたいと考えております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） もう一点だけ。私の言っているのは、過大見積りとかそういうことではなくて、少なくとも予算に出すときにはきちんとした数字をもって出すのが当たり前でないかということを行っているんですよ。ということは、きちんとした設計がなければ、この予算に出すものでないのではないかと。これは基本原則でないかと。そこを私は聞いているんです。だから、地域の人と協議するのは良い、いろいろな人と協議するのは良いんですよ。しかし、実際に予算に上げるときには、こういう工事費関係についてはきちんとした設計をもってやるのが当たり前でないかということなんです。

だから、ミナ・トナムの最初の出だしもそうで、不確定要素でもって70万やったんですよ。これで支所の場合は、この実際の公園整備もまだ不確定要素が多分にある。そういうものは予算に見積もるものでない、きちんと決まってから出すものでないのってことを私は言っているんですよ。もう一度説明してください。

○委員長（木村一俊君） トナム支所長、多田淳史君。

○トナム支所長（多田淳史君） ご説明いたします。議員のおっしゃるとおりだとは思っております。不確定要素は多聞にあるとは思っておりますが、私としましては先ほども申しましたが、地域に公園ということで村長の命も受けておりますので、その中で予算化をさせていただいております。

議員のご指摘されることは重々承知しておりますし、お話いただいたことも理解しております。何せ地域のためということで考えておりまして、この件に関してはご理解いただきたいと思っております。

○6番（五十嵐正雄君） （自席で）村長答弁せ。村長だ。

○委員長（木村一俊君） 村長。

○村長（中村 博君） 長谷川議員のご質問にお答えいたします。

まず上トナム地区の設計測量委託料をみているわけですけど、地域から公園が欲しいという声がございます。どういう公園を作るのか、委託業者に委託すればひとつの絵は描いて来ますけど、現場にあった公園なのか、そういったこともございますし、地元の住民の方々の声もでございます。そういったことで今回、公園を作るために地元の方々とお話をしながら、どういう公園を作っていたらいいかという青写真を作るための委託料でございます。

それからミナ・トナムの運営でございますが、今集落対策、それぞれの集落でやっております。トナムにおきましても村がやること、地域がやること、そういった役割分担もやっております、平成27年度の課題は買い物支援ということで、村では買い物支援のバスを手配しましたし、地域ではミナ・トナムの中でできる限りそういったものをおきたいということで、徐々にではございますけど、そういう形を整えてまいりたいと思っております。

地域おこし協力隊も1人、途中採用にはなりましたがトナムに配置しまして、そういった集落の支援を行いながらそういった地域住民の活動の支援もしてまいりたい。それは、集落対策として今後も引き続き行っていきたいと考えております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 長谷川議員の質問の趣旨は、予算計上の明確な根拠となっている、その数字を示してくれということだろうと思っております。そこに対する答弁をいただきたいのですが。

村長。

○村長（中村 博君） 委託料を決める場合、技

術職何人駆で何人とかそういう積算をして基本的には組まなければならない。それは原則として心得ています。ただ今回住民と懇談して、ひとつのものを作っていかなかったらそういったことも積算し辛い面がございましたので、今までの経験からこの予算を計上させていただいております。

長谷川議員ご指摘のとおり、本当はそういった積み上げが必要だと思っておりますけど、この段階でそういった作業ができなかった、そのようにご理解をいただきたいと考えております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） 概ね分かりましたけど、まだトナムの公園の関係については住民とどのような公園、イメージっていうのが具体的に話し合っていないって言うことなのか、それが一点目。

それと先ほど運営補助の関係で、自己負担もあるんでいろいろな問題があるから、いつまで補助するかは全然皆目見当もつかないというような、先行き不透明な答弁があったと思っておりますけど、そういうものではないと思うので、そのへんもう一回説明願いたいと思っております。

○委員長（木村一俊君） 村長。

○村長（中村 裕君） トナム地区の公園につきましては、お母さん方ともお話ししております、お母さん方の希望は、例えば清水町の公園ですとか、南富良野町の公園ですとか、かなり規模の大きい公園を希望されております。内容的にはアスレチックがいいですとか、日陰のある公園、水辺のある公園、そういった要望を受けておまして、トナム地区で実際にそういう公園が作れるのかどうか、お話しした経過がございます。そういったところは用地も必要ですし、無理じゃないかというお話をさせていただいておりますけど、じゃあ今の公園を、神社のあるところ、パークゴルフ場になったところもありますし、幼児公園もあ

ります。それから手前に空き地もありますので、そういったところを有機的に活用して地元の方々も納得できるような公園を何年か継続して作っていきたいと考えておまして、今回はその手始めになるものでございます。

それからミナ・トмамへの支援でございますが、先ほど言いましたようにトмам地区の集落対策として、村がやらなければならないこと、それからトмамの地域がやること、そういったことを話し合いで決めておまして、平成27年から3年間だったと思います。早急にやるもの、それから徐々に手がけるものがございます、その中でそういう地域コミュニティに対する助成が必要なものは、その中でやってまいりたいと考えております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） ちょっと確認しておきます。いま村長の答弁で平成27年から3年間って、3年間でこの助成は終わりという意味なのか、もっと続くものなのか。

○委員長（木村一俊君） 村長。

○村長（中村 博君） 重複になりますけど、トмам地区全体の活性化につきましては、それぞれの集落でやっている集落対策というのがひとつございます。その中で、ひとつの区切りとして3年間、向こう3年間の目標を立ててお互いに頑張りましょうというのが3年間でございます、3年後には活動の見直しも当然やっていかなければならない。そのときの状況判断だとは思いますが。以上です。

○委員長（木村一俊君） 良いですか、長谷川議員。

他に質疑ありませんか。

5番、山本敬介君。

○5番（山本敬介君） いくつかお伺いしたいと思えます。

まず31ページです。2款、1項、1目、13節、

村例規集のデータベースのシステムの253万8千円ですか、この詳細を教えてください。

続きまして34ページ、2款、1項、4目、15節、下の方です。工事請負費の道の駅の駐車場監視カメラの設置についてですけれども、何台設置をして、どの範囲を撮影するのか。そういったことを、詳細を教えてください。

続きまして36ページ、2款、1項、7目、4節ですね、共済費、地域おこし協力隊の採用2人分というふうに聞いておまして、次の38ページにも地域おこし協力隊関係の費用が計上されておりますけれども、今集落対策ということで3人、主な業務として入っているということですが、どういった担当として動いていく予定をしているのか、具体的にお願いしたいなと思います。

あと、今の5人については林業振興室に2人と企画に3人ということですが、あとの2人はどこに所属になっていますか。

協力隊員をコントロールしていくっていうものなかなか業務としては大変な業務、業務が膨らんでくると思います。国の方の助成もあるので2人ということで増やしますが、やはり全体をコントロールしていくような仕組みって言うのが必要になってくるのでないかというふうに思いますが、このへんのことをお伺いしたいと思います。

42ページ、2款、1項、11目、18節の備品購入費の防災備品の備蓄備品購入費の内容とその上、東日本大震災の避難者支援生活備品の購入費、これ具体的なものがありませんでしたらお伺いしたいと思います。

あともう一点、34ページですが、2款、1項、4目、13節の委託料の中、旧夕桐荘の屋根の雪下ろし業務委託ということで5万4千円計上されておりますが、夕桐荘の今の使用実績についてお伺いたします。以上です。

○委員長（木村一俊君） ここで午後1時までいたしたいと思えます。

休憩 午前11時53分

再開 午後1時00分

○委員長（木村一俊君） それでは休憩前に引き続き会議を開きます。休憩前の山本議員の質問に対する答弁をいただきます。

総務課長、田中正治君。

○総務課長（田中正治君） 山本議員のご質問にお答えしたいと思います。

まず初めに31ページ、例規集の関係でございます。例規集の内容ということでご質問がございました。

基本的には村の例規集の更新を主とする業務でございます。内訳としてはデータ作成費が10万円、データ編集費が62万円、印刷製本費が36万7600円、それからシステムの、検索システムの利用料がございましてこれが81万円、それから法令管理システムの使用料が42万2400円、メディアの作成費が3万円ということで、合わせますと235万円、消費税込みで253万8千円という内容でございます。

次に34ページの15節の工事請負費の中の監視カメラの設置についてでございます。監視カメラの設置については、道の駅を中心として考えておりましたカメラ3台を設置する予定でございます。方角としては生活情報センターの出入り口、コミプラの横の駐車場、それから道の駅のトイレのところの駐車場ということで、その方向に3台を向きたいというふうに考えてございます。

カメラの中身としては、屋外用ネットカメラが3台、それから付属部品ですね。それからネットワークレコーダーが1台ということで、コミプラ内に設置をしたいということでございます。あとケーブル等も含めて、記載の内容の予算ということになってございます。

次に夕桐荘の使用実績ですが、現在あります夕桐荘については、基本的には使っておりません。ここ何年か、事業者の宿舎等に貸付をしていると

いう実態にございまして、平成27年度の実績では昨年の5月から10月まで貸付を行っておりまして、貸付料が29万323円という実績になってございます。

次に42ページの防災関係の備品の購入の内容ということでご質問がございました。備品購入につきまして、現在予定をしておりますのが、防災用備品購入費としましてバッテリーを中学校横に設置をするということで、2万6千円のやつが2台、それから災害避難所用の緊急マット、いま御座をお借りしてやっていますが、ちょっとまずいだろうということで、そのマットを購入する予定です。それから折り畳みベッドを購入予定で、ベッドを10台予定してございます。このほか消耗品の中にありますけど、消耗品、非常用ロウソクだとか、食料備蓄品だとか、そういったものについては消耗品の中で購入をしていくという予定でございます。

東日本大震災の支援生活備品につきましては、予算計上をさせていただきましたのが、洗濯機2台、冷蔵庫2台、テレビ2台、炊飯器2台、電子レンジ2台、電気ポット2台、ということで生活必需品を購入するということで予算計上をさせていただいております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 企画担当係長、佐々木智猛君。

○企画担当係長（佐々木智猛君） 山本議員からのご質問に答えさせていただきます。

36ページの7目、企画費、共済費、賃金、ページ飛びまして38ページの使用料及び賃借料についてが地域おこし協力隊2人に関わるところでございます。地域おこし協力隊2人の増員の理由についてですが、地方版総合戦略、占冠村の総合戦略におきまして、地方における安定した雇用を創出するという項目がありまして、その中の主な施策としまして、森林を活用した企業・人材の育成というものがございます。その人材を育成するため

の採用でありまして、所属としましては林業振興室を予定しております。内容につきましてですけれども、2人の配置につきまして所属は林業振興室ですけれども、民間企業2社にご協力いただきまして、人材を育成していくというプランを想定しております。今後林業家の担い手の確保のために協力隊の制度を活用させていただきまして、2人の増員とした理由となります。以上です。

○委員長（木村一俊君） 協力隊の指揮系統ってどうか、それをどうしていくかっていう質問があったと思いますが。

○企画担当係長（佐々木智猛君） 指揮系統につきましてですけれども、林業振興室が母体となりまして、林業振興室と民間企業の間で育成プラン、計画等を練っていただきまして、3年間で林業の担い手として村で自立していただける人材を確保する内容となっております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑ありませんか。6番、五十嵐正雄君。

○6番（五十嵐正雄君） まず30ページ、議会費の関係で、1款、1項、1目、議会費、4節、共済費であります。これは563万1千円ということで、議会費の予算の約19%、18.8%を実は占めるわけです。記憶が違っていけば指摘していただきたいですけれども、共済制度については平成23年からなくなって、議員の退職金の問題ですが、これがなくなっているわけです。

それ以前の議員の方には、対象になっているわけですが、制度そのものがなくなって平成23年以降議員になった方については、共済制度に加入してないわけですが、これらについて実に議会費の予算の18.9%を占めるものが、今後も何年間も続いて自治体の負担としてあるのかどうか。そのへんの見通しについて伺いたいと思います。

次に2点目です。36ページの2款、1項、7目、企画費の7節の賃金です。ここに1904万1千円の臨時雇上賃金がとてつもない大きな数字となって

出ているわけですが、これらの中身、それからどういったことを進めていくのか。これらについて伺いたいと思います。

○委員長（木村一俊君） 総務課長、田中正治君。

○総務課長（田中正治君） 五十嵐議員のご質問にお答えしたいと思います。

30ページの議会費の共済費でございますが、確かに現在の議員については、この制度によくしていないということでございますが、過去においてこれらに加入をしていた議員がいらっしゃることで、その既得権分としまして何年間か支払い事務が生じてきているという理解をしております。

詳しい中身については、議会事務局の方から要求を受けた予算でございますので、それについては議会の中で処理をしていただきたいというふうに思います。よろしく願いいたします。

○委員長（木村一俊君） 企画担当係長、佐々木智猛君。

○企画担当係長（佐々木智猛君） 五十嵐議員からの質問について答えさせていただきます。

賃金の内訳についてでございますけれども、36ページ、7目、企画費の7節、賃金についてです。臨時雇上賃金の内訳につきまして、バス等の運転手賃金が10万円、地域生活相談員の賃金が290万円、地域おこし協力隊5人分の賃金が1500万円という内訳となっております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑ありませんか。3番、大谷元江君。

○3番（大谷元江君） 一点だけお伺いしたいのですが、37ページ、2款、1項、7目の企画費で、11節、需用費の中の修繕料137万円の計上がありますが、この中身を説明願います。

○委員長（木村一俊君） 企画担当係長、佐々木智猛君。

○企画担当係長（佐々木智猛君） 大谷議員の質問について回答させていただきます。

37ページ、7目、企画費の11節、需用費の修繕

料の137万円の内容についてです。4本ございまして、車両の修繕8万円、パソコンの修繕が5万円、地域情報化通信基盤修繕、こちらは光ケーブルの修繕になりますけども100万円、同じく光ケーブルに係る支障木の伐採について24万円を計上してございます。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑ございませんか。

7番、佐野一紀君。

○7番（佐野一紀君） 39ページ、2款、1項、7目、19節、廃屋除去事業補助金の60万円の関係ですが、これは本年度、廃屋をどこかを想定しているところがあるのですか。教えていただきたいと思えます。

○委員長（木村一俊君） 企画担当係長、佐々木智猛君。

○企画担当係長（佐々木智猛君） 39ページ、7目の19節、廃屋除去について60万円の計上についてです。27年度実績としまして、3件実績がございました。内訳は1件につき、それぞれ30万円でございます。1件あたり30万円が上限となっております、毎年平均しますと約2件の試算でしたので、2件かける30万の60万円で計上させていただいております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 7番、佐野一紀君。

○7番（佐野一紀君） 本年度の2件上限ってことですけども、本年度、もう確実に2件あるってことですか。

○委員長（木村一俊君） 企画担当係長、佐々木智猛君。

○企画担当係長（佐々木智猛君） 2件確実にあるということは正確には回答できませんけども、過去の実績を踏まえまして約2. 何件という数字になりましたので2件で試算させていただいております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）

◎議案第21号（歳出3款・4款）

○委員長（木村一俊君） それでは次に移ります。ページ48ページ下段から60ページ上段3款、民生費、及び4款、衛生費について質疑を受けたいと思えます。質疑ありませんか。

5番、山本敬介君。

○5番（山本敬介君） 一点お聞きしたいと思います。

57ページです。4款、1項、2目、14節の使用料及び賃借料の健康増進事業（温泉）というのがあります。金額はわずか7千円ですけども、前年度にはないようでしたのでどういった事業かお聞きしたいと思います。以上です。

○委員長（木村一俊君） 保健福祉課長、小尾雅彦君。

○保健福祉課長（小尾雅彦君） 57ページの健康増進事業ということで、温泉を利用したストレッチ教室になりますが、若干、民間の施設を利用するというので、事業実施にあたって使用料等が発生する旨、打ち合わせしておりますので、湯の沢温泉の使用料ということで計上してございます。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑ありませんか。

3番、大谷元江君。

○3番（大谷元江君） 53ページ、3款、民生費、2項、児童総務費の中の、18節、備品購入費で15万2千円ですか、子育て支援に使われるようなものを購入の予定のようですが何を購入するのか、教えてください。

それと2目、へき地保育所費、11目、需用費の中の修繕料、160万の計上がございますが、この中身も教えてください。

それと、へき地保育所の関係の、14節、使用料及び賃借料の中にNHK受信料2万6千円がございました。昨年度の予算書を見ましたらNHK受信料は入っておりません。これはどうしてなのか理由を教えてください。それと、この使用料の中に昨

年度は花火の打ち上げ料っていうのが入っていたのですが、今年度入っていませんが、このへんの理由も教えて下さい。

○委員長（木村一俊君） 保健福祉課長、小尾雅彦君。

○保健福祉課長（小尾雅彦君） 53ページのですね、18節、備品購入で子育て支援の名目で15万2千円の計上です。今資料の中で確認しますので、後で説明をさせて下さい。

その下のへき地保育所費の11節、需用費の中の修繕料、160万円の計上の内訳です。この経費の内訳につきましては、占冠保育所とトマム保育所の2カ所分が混合しておりまして、占冠保育所での施設修繕費という大きなくりの中で、計上しているのが20万円。あと、トマムの保育所におきますストーブ、縦型の大型になりますが、更新ということで1台分で29万7千円、トマム保育所の施設内の修繕費で15万円の計上。あと大きくはですね、保育所内のLED化の照明ということで、93万2千580円の計上の内訳になります。

次ページ、54ページの14節、使用料及び賃借料、NHK受信料ですが、これについては従前まで計上がなかったので、保育所の分ということでの受信料の経費になります。あとあの、花火の打ち上げ経費の割愛につきましては、運動会の実施に際して、保護者への周知ということで、花火を打ち上げていたわけですが、いろいろ諸般この花火打ち上げに関して、近隣住民への配慮ですとか、よっぽど雨が降って延期になれば、連絡網が発達してきているということで、そちらの方への切り替えということで、この経費については取りやめになったということでございます。

備品の関係だけお時間ください。

○委員長（木村一俊君） 他に、質疑ありませんか。

3番、大谷元江君。

○3番（大谷元江君） 先ほどの使用料及び賃借

料のNHK受信料、これは毎年計上されなきゃいけないものだと思うのですが、これが急に挙がるというのは、今まで支払いをされてなかったということになるのでしょうか。

○委員長（木村一俊君） トマム支所長、多田淳史君。

○トマム支所長（多田淳史君） トマム保育所の方ですので私の方からご説明させていただきます。NHKの受信料につきましては、昨年27年度に事務所にテレビを購入いたしまして、その際に本来受信料取られていなかったのですが、NHKの方が見えて受信料を取るよということになりまして、流用で今年度対応しております。それで来年度からは正式に支払うことになりまして計上させていただきます。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑はありませんか。

子育て支援の関係ちょっと待って下さい。

他に、質疑ありませんか。

4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） 59ページの4款、2項、清掃費の2目、じん芥処理費、13節、委託料です。この最終処分場の1工区覆土作業の委託料129万6千円ですか、これ昨年の7号補正で減額、減額されてこれの復活だと思いますけども、その理由だとか経過についてお伺いいたします。

○委員長（木村一俊君） 産業建設課課長、岩谷健悟君。

○産業建設課長（岩谷健悟君） 長谷川議員のおっしゃる最終処分場の1工区の覆土の関係です。平成27年度で予算計上しておりましたけれども、1工区と2工区の取りあいの関係が実際ありまして、27年度では事業ができないということで、今回28年度に予算計上させていただいております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑はありませんか。

3番、大谷元江君。

○3番（大谷元江君） 先ほど聞けばよかったですけど、4款、衛生費、ページ数59ページのじん荼処理費ですか、これの1節、報酬、ごみ減量化対策推進委員会委員報酬、これは何人募集して、何をされるのかお聞きしたいと思います。

○委員長（木村一俊君） 産業建設課課長、岩谷健悟君。

○産業建設課長（岩谷健悟君） このごみ減量化対策推進委員会委員報酬ですけども、最終処分場の残容容量が少なくなってきたということもありまして、今後のごみ処理をどのようにするのか方法ですとか、そういった部分の検討を行うための委員報酬で、一応委員報酬は15人分を計上しております。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑はありませんか。

ここで答弁調整のため暫時休憩いたします。このままの状態でお待ち下さい。

休憩 午後1時27分

再開 午後1時29分

○委員長（木村一俊君） 休憩前に引き続き、会議を開きます。

先ほどの答弁をいただきます。保健福祉課長、小尾雅彦君。

○保健福祉課長（小尾雅彦君） 53ページの18節、備品購入費で子育て支援に関します、15万2千円の備品の内容につきましては、チャイルドシートの貸付用途でチャイルドシートを2台分ということで7万6千かけることの2台分で15万2千円の計上内容でございます。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑はありませんか。なければ次に進みます。

◎議案第21号（歳出5款・6款・7款）

○委員長（木村一俊君） 次にページ60ページの下段から、73ページ上段にかかります。5款、労

働費、6款、農林業費、7款、商工費についての質疑を受けたいと思います。

質疑ありませんか。

6番、五十嵐正雄君。

○6番（五十嵐正雄君） まず67ページ、6款、2項の1目、林業振興費の13節、委託料です。この中で、地域材活用促進事業ということで、86万4千円が計上されております。地域材活用促進事業ということですから、うちの村でも地域材の活用に向けた取組みの指針をこの間作りました。作りましたけれども、なかなか地域材の活用の取組みが活用されていないという状況はあります。この86万4千円の中身についてまず伺います。

次に同じ67ページの6款、2項、1目、15節、工事請負費の全体的に言えますけども、まず一つ目は、保育間伐の関係については先ほど870万の収入のところ、それぞれの箇所が説明されていますので、先ほど申し上げましたように、この中でこれの事業に関わる事業体の指導等をより進めたいというふうに考えています。これらについて。

次にですね、人工林、造林の関係で312万1千円あります。新植ということなので、これは新たに皆伐等をやってその跡地を造林するのか、また間伐が最終年度で終了、終わってその跡地を造林するのか、または、未採地をなくすために新植をするのか、このへんについて明らかでない、このへんについてひとつ明らかにしていただきたいというふうに思います。

造林関係、昨年何か所か予算を未実行があったということで聞いておりますけれども、これらについて、それぞれ必要があるからそういった施業を検討して、予算をつけて、造林未採地を解消していくと、こういうことでやられているのだろうと思いますので、せっかくこれだけの3百何十萬の予算を取ったわけですから、未実行ということがないように取組みをしていただきたいというふ

うに思っています。そのへんについて、大きく分けて二点質問をいたします。

○委員長（木村一俊君） 産業建設課長、岩谷健悟君。

○産業建設課長（岩谷健悟君） まず、67ページの6款、2項の13節、地域材活用促進事業ということで、86万4千円を予算計上させていただいております。この中身としては、空洞木、村の土場というかそこにありますけど、空洞木を活用しまして縁台と看板を作成する予定で86万4千円の予算を計上させております。

それと15節、工事請負費につきましては、昨年予算計上して予算を全部執行できなかった部分等もございまして、やはり地元企業体を活用した中で実施したいということもありまして、昨年度はちょっと手が回らなかった部分もありまして、状況を見ながら実施を行っていたという状況であります。今年度におきましては、なるべく予算を消化するべく事業に向けて実施してまいりたいと考えております。

新植の内容ですけれども、ちょっとお待ちいただいてもよろしいでしょうか。新植については現在、村有地で未立木地となっている部分におきまして、植採したいというふうに考えております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑はありませんか。

3番、大谷元江君。

○3番（大谷元江君） 6款、農林業費、2項、林業費の、69ページです。未来へつなく森づくり推進事業補助金、340万円。歳入の方でも推進事業がありまして、歳入で200万円計上されています。歳出のほうで130万円近く増額になっての補助金事業になっております。この中身を教えてください。

○委員長（木村一俊君） 産業建設課長、岩谷健悟君。

○産業建設課長（岩谷健悟君） 未来へつなく森づくり推進事業補助金におきましては、歳入の方で見ているのが道の補助金となります。そして、それに村の上受けもありますので、ここの補助金としては増額となっているという内容です。内容としては、面積15ヘクタールを見込んでおりますので、ちょっと待っていただいてもいいですか。

○委員長（木村一俊君） このままの状態、しばし休憩いたします。

○委員長（木村一俊君） お願いします。

○産業建設課長（岩谷健悟君） 内容としては造林で15ヘクタール分を見込んでおります。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑はありませんか。

5番、山本敬介君。

○5番（山本敬介君） いくつかお伺いしたいと思います。まず62ページです。6款、1項、2目、7節、賃金のところの営農指導員に与える賃金で345万6千円とあります。これ数年前から、営農指導員という形で入っていただいておりますが、ただちょっとどういうふうな実績が挙がってきているのかというのが見えない状況にあります。そのあたりのところをお伺いしたいと思います。

66ページ、6款、2項、1目、8節の報償費、熊・鹿の駆除の捕獲の奨励金、これどの程度頭数見込んでいるのかが一点と、ハンティングガイドの報奨金についても10万8千円詳細をお知らせください。

続きまして、67ページ、6款、2項、1目、13節、委託料の中の占冠村猟区監視等業務委託に87万5千円ですが、こういった形の業務委託なのか内容をお知らせください。その同じ委託料の中の一番下のサトウカエデの植栽委託業務ですね、これメイプルシロップの関係かと思いますが、イタヤカエデではなくてサトウカエデっていうのは多分、外来のカエデだと思いますが、そういった外来の種を植えて試していくのか、そういったこと

の内容をお伺いしたい。

続きまして68ページ、6款、2項、1目、19節の一番下、鹿の捕獲認証制度の受講負担金30万とありますが、鹿の捕獲の認証制度についてお伺いしたいと思います。

次、69ページ、同じ今の19節の一番下、木質バイオマスエネルギー導入促進事業補助金の内容についてお伺いします。

最後ですね、72ページ、7款、1項、2目、13節の最後、赤岩青巖峡環境整備委託料の内容についてお伺いいたします。以上です。

○委員長（木村一俊君） 産業建設課長、岩谷健悟君。

○産業建設課長（岩谷健悟君） まず、62ページになります。6款、1項、2目の7節、賃金、営農指導員の賃金ですけれども、内容がなかなか見辛いということでもありますけれども、営農指導員につきましては、基本的には新規就農者対策を主にやっていただいております。平成28年度で就農を目指している人間が1人おりますので、そっちを主にやってございます。新規就農をしないとなかなか目に見えない部分かと思っておりますけれども、そういった部分を主にやっていただいていると、ご理解いただきたいと思っております。

66ページ、熊・鹿の奨励金で、報償費で熊につきましては、5頭で15万円、鹿につきましては、350頭で245万円。ハンティングガイドの報酬につきましては、6日分を見込みまして10万8千円といった内容となっております。

それと、67ページ。猟区監視等業務委託料ということで、猟区を始めて2年、丸2年経つわけですけれども、やはりまだ猟区という認識がない方もいて入ってこられる方もいるということで、そういった部分の監視活動を行っていただいているということになります。

それと、サトウカエデ植栽委託業務につきましては、基本的に

サトウカエデが本来らしいんですよね。今占冠にあるのはイタヤカエデということでやっているわけですけれども、占冠にサトウカエデが根付くのか根付かないのか、そういった部分を試験的に栽培したいということで今回予算計上させていただいております。

鹿捕獲認証制度受講負担金ということで、19節で30万円計上させていただいておりますけれども、鹿捕獲に必要な知識と基本的な技能に関する認証資格ということで、講習を受けまして、その後、試験を受けて合格しなければこの認証資格を得られないということで、今回1人分を計上させていただいております。

木質バイオマスエネルギー導入促進事業につきましては、薪ストーブ、薪ボイラー購入設置及び薪購入にかかる補助の部分を計上させていただいております。薪ストーブ、薪ボイラー購入設置につきましては、各3軒、薪購入補助に関しましては60立方分を計上させていただいております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 商工観光担当主幹、後藤義和君。

○商工観光担当主幹（後藤義和君） 山本議員のご質問にお答えさせていただきます。72ページ、商工費、1項、商工費、13節の赤岩青巖峡環境整備委託料の内容ですが、現地の清掃美化ですとか、トイレの設置、その他現地の管理人の賃金等で観光協会の方に委託しまして、実施しております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に、質疑ありませんか。

5番、山本敬介君。

○5番（山本敬介君） 林業振興室長が空席の中ですいません、いっぱい質問しまして。その中でちょっとお聞きしたいのが追加であるのですが、68ページの鹿の捕獲の認証制度を30万円かけて取りたいということですが、そもそも、鹿を捕獲

するのに認証制度が必要なのかどうか、現在はな
い中で捕獲はしてないのか、そのへんの区分け、
捕獲と狩猟の違いをお聞きしたいというふうに思
います。その件、お伺いします。

○委員長（木村一俊君） 産業建設課長、岩谷健
悟君。

○産業建設課長（岩谷健悟君） この捕獲認証制
度におきましては、先ほどもちょっと簡単に物申し
ましたけど、法令とか銃の取扱い、食品衛生等の
安全管理体制ですとかそういった部分の講習等が
あります。一応猟区でやっております、最後まで
捕った鹿を、捕獲した鹿を解体所に持って行っ
て、それを解体する部分もありますし、銃器の安
全な使い方といいますか、入猟された方に指導す
るという部分もありますので、こういった資格が
あると安全に指導できる資格だと思っております。
それでこの資格を取ることによって占冠猟区の安
全性を担保したいという部分もございまして今回
予算計上させていただいております。

○委員長（木村一俊君） 他に、質疑ありませ
んか。

5番、山本敬介君。

○5番（山本敬介君） 先ほどもう一点ですが
も、67ページの占冠村猟区の監視等業務委託
することですけども、これは委託先と87万5千
円の内訳というかどうかという形の委託料にな
っているのか詳細をお知らせください。

○委員長（木村一俊君） このままの状態
で暫時休憩いたします。

休憩 午後1時51分

再開 午後1時53分

○委員長（木村一俊君） 休憩前に引き続き
会議を開きます。

追加の答弁をお願いいたします。

○産業建設課長（岩谷健悟君） 委託先
については、猟友会となります。内容としまして
は、猟期、非猟期含めまして平日においては村
の担当が巡回

すればいい話ですけど、土・日・祝祭日等
におきまして、村内をパトロールしていただ
くといった内容になります。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に、質疑あり
ませんか。

4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） 67ページの、6
款、農林業費の2項、林業費、1目、林業費
の13節、委託料とそれから、14節の使用
料及び賃借料、この中で村の木活用事業
委託料、村の木活用事業機器使用料
ですか、これどういうものかお伺い
したいと思います。

もう一つ、14節の中に村有林発生材
運材車賃借料ですか借り上げ料があり
ます。これについてご説明お願いいた
します。

それから71ページの、7款の商工費
の商工費2目の観光費の13節、委託
料、これ物産館の清掃料18万
ですか、去年は127万8千円
ですけども、111万円の差
がありますがこれについて説明
をお願いします。

次に73ページと同じ商工費の、
2目の観光費の19節、補助金
及び交付金、体験型ツーリズム
協議会これはどういうものか
お伺いしたいと思います。
以上です。

○委員長（木村一俊君） 産業建設課長、
岩谷健悟君。

○産業建設課長（岩谷健悟君） まず6
款、2項、1目の林業振興費の中
の使用料及び賃借料への村の
木活用事業委託料と村の木活
用機器使用料ということで
予算計上させていただいて
おります。これにおきまして
は、カエデの樹液採取等にか
かる委託と機器の使用料を
計上させていただいて
おります。歳入のほうで
500万を見込んで
おります。その部分の
事業になります。

同じく、14節で村有林発生材
運材車賃借料ということで、
村有林から発生しました材を
一旦土場に運搬して
いただいた後、銘木市
などに運搬する

時の運材の賃借料ということで計上させていただいております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 商工観光担当主幹、後藤義和君。

○商工観光担当主幹（後藤義和君） 長谷川議員のご質問に答えさせていただきます。71ページ、商工費、2日、観光費、13節、委託料の物産館清掃委託料の減額についてですが、昨年春に物産館の管理人が退店したことによりまして、今年度につきましては直営で清掃業務を行っております。現在、入館される方を募集しております。来年度につきましても、まずは直営で清掃業務にあたっていきたくて考えております。その分の賃金に関しましては計上させていただいております。

続きまして、体験型ツーリズム協議会でございますが、平成26年度に体験型ツーリズム協議会が設立されまして、今年度も引き続き協議会としましては運営がされております。

こちらの活動につきましては、村内におけるさまざまな体験プログラムを一括して運営する母体というのがこれまでなかったものですから、平成26年度におきまして、そういったさまざまなプログラムをまとめていただく団体の窓口としましてこの協議会が設立されております。その協議会につきましてはですね、特定の会社ということがありませんので、村の方で可能な事務費等につきまして支援していきたいということで補助金を計上させていただいております。

○委員長（木村一俊君） 他に、質疑ありませんか。

4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） 67ページのですね、委託料の中でサトウカエデ植栽委託。これどこ産の木かちょっと分かりませんが、在来種に対する生態系がこれを植えることによって乱れないか、このへんの検討をされているかお伺いしたいと思います。

それからツーリズムの協議会ですけども、これ協議会ですから何人かの役員やなんかいると思いますが、そのへんの構成メンバーをもしも発表可能であるならば教えていただきたい。以上です。

○委員長（木村一俊君） このままの状態です。休憩いたします。

休憩 午後2時00分

再開 午後2時02分

○委員長（木村一俊君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

産業建設課長、岩谷健悟君。

○産業建設課長（岩谷健悟君） サトウカエデの植栽の関係でございます。サトウカエデについては外来種ということですが、長沼の圃場で育てられている木を導入する予定であります。基本的に山に植えるという考えではなくて、サトウカエデを植えてうまく育てば樹液を採りたいということで、街路樹的な植え方を考えております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 商工観光担当主幹、後藤義和君。

○商工観光担当主幹（後藤義和君） 長谷川議員のご質問に答えさせていただきます。協議会の構成委員につきましては、占冠村をはじめとして教育委員会、観光協会、星野リゾートトナム、株式会社スポーツピア、森のかりうど、長瀬産業、ワイルドライフ北海道、自然ガイドネットワークふんぷか、スローフード占冠の10社で構成されております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑はありませんか。

4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） サトウカエデの問題ですけど、実はニセアカシアですか、これも外来種で街路樹関係で植えています。いつの間にか種が飛んで、在来種の木に影響を及ぼすのでニセアカシアは植えてはいけないという話があるわけです。

そういうことを考えるとサトウカエデほどの程度まで繁殖力が強くてどの程度までこのへんで育つか、これは試験している段階なので分からないですけれども、外来種を植えることについては、そのへんの在来種との関係をよく研究して植えないと後でとんでもない目に合うと思います。

だからそのへんの検討が真剣にできているか、できていないか。サトウカエデの樹液よりもイタヤカエデの樹液の方が、サトウカエデの方が勝ると思うからこういう試験がやっているのだと思いますけれども、やはりそのへんをよく研究しなければ安易に街路樹的だと言ってもその街路樹的が非常に恐ろしいことなので、そのへんもうちょっと研究されてやられたらよろしいかと思えますけれども、もう一度ご説明願います。

○委員長（木村一俊君） 村長。

○村長（中村 博君） サトウカエデを試験的に植えたいということでももちろん外来種ということは承知しておりました。北海道に問い合わせまして、サトウカエデを試験的に植えたいのだけどいかなものでしょうか、ということ道をの方に問い合わせた結果、先ほど課長が申し上げましたように自治体によっては街路樹としても使用していて、道が指定している外来種には入っていない。外来種指定が入ってないそうです。東大演習林ありまして、あそこの林長にもちょっとお聞きしましたけど、東大演習林にも試験木みたいのがまだ数本残っているそうです。ほとんどがもう胸高っていいですか、何十センチもの大木で残っているのが2・3本あるという話はお聞きしました。ですからニセアカシアみたいな影響はないとそのように判断しております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑ありませんか。

なければここで2時20分まで休憩いたしたいと思えます。

休憩 午後2時07分

再開 午後2時18分

◎議案第21号（歳出8款）

○委員長（木村一俊君） それでは休憩前に引き続き会議を開きます。

一般会計予算の質疑を続けます。次に、73ページ下段から79ページ上段にかけての8款、土木費についての質疑を受けます。質疑ありませんか。

7番、佐野一紀君。

○7番（佐野一紀君） 75ページの土木費の1項、道路橋梁費、3目、橋梁維持費、13節、委託料、15節の工事請負費、22節の補償、補填及び賠償金の関係でお尋ねをいたします。

13節、15節、22節については3点セットでおそらく計上されているのだと思います。8160万8千円を計上されていると思いますが、そこで宮下橋の補修工事ということで4615万8千円が計上されています。この宮下橋というのは、昨年は下部工事をやって今年は上部工事ということで、対岸に人家、生活している住民もいらっしゃいます。そういう中でその調査、測量、設計の委託がこれからだと思いますが、22節の補修、補填及び賠償金について、このへんの500万が計上されている。

こういう中で工期が何月から何月までなのか、そして水道管の補填、補償費だと思いますが、あの道路の橋の橋台に併設してついているということから当然、水道も使えない、道路ももしかしたら片側通行になるか、どういう方法になるか、時間的に通行止めになるか、仮設の橋を作るというのはちょっと無理ではないかと思うので、そのへんについてまずお尋ねをします。

もう一点は、8款、土木費、2項の河川費の1目、河川総務費の中の13節、委託料、樋門・樋管管理委託料の関係です。樋門・樋管については、洪水調節で誰かがやらなければならない大事な仕事だと思いますが、そのへん二点についてお尋ねをいたします。

樋門・樋管の関係については、何か所あるのか。

そして今言った橋梁の関係については、まず一点は、通行止めになるのか。そして水道が外されるとなると、その水道水が遮断される、上水道が遮断されるということで補償補填、賠償がどうなるのか。そして工期は何月から何月までなのか、それについてお伺いをいたします。

○委員長（木村一俊君） 産業建設課長、岩谷健悟君。

○産業建設課長（岩谷健悟君） まず、75ページの8款、1項、3目の橋梁維持費の中の委託料工事請負費、補償、補填及び賠償金の関係からまずご説明申し上げます。宮下橋補修工事におきましては調査・設計全て終わっております。今年度、昨年平成27年度に下部の補修工事を終了したところであります。平成28年度におきましては上部工、橋面等の補修工事を行う予定で現在進んでおります。

一応、工事時期においては、早い時期に発注したいと考えておりますけれども、国の補助金の関係もありますので、国の補助決定を受けないと工事に着手できないという状況もありますので、そのへんの見込みを考慮しましてなるべく早い時期に工事を発注して、冬になる前には工事を終了したいと考えております。

水道の補償費の関係ですけれども、いま宮下橋に水道管が橋梁添架という形で横の方に抱き抱える形でついております。上部工工事にかかりまして、一応水道管については一回外さないとならないということで、そういった部分の補償費。川向かいに住宅もありますので、仮設配管をして水道に支障がないようにしていきたいと考えております。

宮下橋補修工事ですけれども、もうちょっと橋梁の幅が広ければ片側通行ということも考えられますけれども、若干橋の幅も狭いということで、候補的に今いろいろと考えている最中でございます。時間的に通行止めが可能なのか、逆に夜間で工事をした方がいいのか、ただいま検討をしている最

中でございます。橋面をやるとなると通行止めが出てくるということもありますので、そのへんを再検討して支障がないように進めていきたいと考えております。

あと、同じく75ページ、8款、2項、河川費の中の委託料、樋門・樋管管理委託料ということで樋門・樋管等含めまして、村内19カ所ございます。それぞれの樋門・樋管につきましては、地域の方々、近くの方々に委託をする形で管理をしていただくようにしております。以上でございます。

○委員長（木村一俊君） 7番、佐野一紀君。

○7番（佐野一紀君） 今の宮下橋の関係について、今、課長からも言われて大体は分かっていますけれども、道の補助金と国の補助金で4307万2千円がついていて、これが入らなければ工事にかかれないということで、課長がおっしゃられましたが、それはそれでよろしいです。

補償、水道の補償、道路の通行止めになったりする補償賠償等の関係について、期間が長ければ長いほど、やはり余計に補償しなきゃならない、補填しなきゃならない部分も出てくるのでないかなと思いますけど、この積算した500万っていうのは、どのような積算方法でやられたのですか。

○委員長（木村一俊君） 産業建設課長、岩谷健悟君。

○産業建設課長（岩谷健悟君） 水道の補償料というか、補償費の関係ですけれども、一応国なり道から補助金をいただいた中で実施するわけですけど、土木費の中で500万見込んでいますけれども、減耗分等もありますので、その分を見込んで500万ということです。後ほどそういった特別会計の方で架け替えにかかる経費ということで出てきますけれども、この500万についてはその中で減耗分を差し引いた中での500万ということで、ご理解いただきたいと思います。以上です。

○委員長（木村一俊君） 7番、佐野一紀君。

○7番（佐野一紀君） いずれにしても対岸に住

居を構えている方がいらっしゃるの、住民らとも細部に渡っているいろいろと話し合いを持たれて、そして進めていただきたいというふうに思います。

樋門・樋管の関係で19カ所ということでしたが、当然19カ所、19人の管理している方がおられると思いますが、この樋門については洪水調節なので、要するに大川の水が増水してくればそこへ流れ込んでくるので、そこをシャットアウト、遮断しなければ大水が増えたやつが入るので、雨降りの一番大変なときにご苦労されるわけですが、この19カ所で26万6千円ということは、要するにそういう自然的な降雨が、たくさん大雨が降ったときに余計に出なきゃならないわけですよ。そういう中でこれの積算方法はどのようになっているのですか。

○委員長（木村一俊君） 産業建設課長、岩谷健悟君。

○産業建設課長（岩谷健悟君） 樋門・樋管の委託料につきましては、1基当たり1万4千円ということで計上させていただいて、19基分26万6千円ということになります。通常部分と災害時等もあろうかと思いますが、災害時にはまた別途支出する形になろうかと思いますが、基本的には災害時おかれましても、村の方から状況を見た中で操作をお願いするような形を取っております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑はありませんか。

5番、山本敬介君。

○5番（山本敬介君） 二点ほどお伺いいたします。74ページ、8款、1項、1目、13節の委託料、支障木伐採委託料ということです。ここにあるのは河川内の支障木の伐採ということかなと思っておりますが、先ほど企画の中でも支障木っていうのが一部ありましたけれども、基本的には地球温暖化防止のためにも木はできるだけ切らない方がい

いというふうに思います。

こういう木材とずっと暮らしてきた村であるがゆえに経済的価値のない木に関しては、あれは役に立たないから切ってしまうという傾向がどうしても強いというふうに思います。危険があるような木に関してはもちろん整理していくべきでしょうけれども、その木を大事に思っている村民も多々いますので、できるだけ切らない、危険のある支障木については切るということをご心掛けてもらいたいと思います。この支障木の考え方について確認をしたいと思います。

79ページ、8款、5項、1目、ヘリポート管理費の件です。全員協議会の中でヘリポートについては廃止の方向であるというような説明を受けておりますが、その時期とこの予算との関連性についてお聞かせください。以上です。

○委員長（木村一俊君） 産業建設課長、岩谷健悟君。

○産業建設課長（岩谷健悟君） 74ページ、8款、1項、1目の道路維持費にかかる13節、支障木伐採委託料になります。これについては道路に支障になる木というか、道路にかぶさってきている木です。大型車両が通れないですとか、見通しが悪いですとか、そういった部分の木の伐採を考えて計上しております。みだりに木を切ることではありません。

それと79ページ、8款、5項、1目、ヘリポート管理費の委託料ですが、以前にも説明しましたけれども、平成28年度中にヘリポート廃止に向けて手続きを行いたいということでもありますので、平成28年においては管理委託を行っていく中で進めていきたいと考えております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑はありませんか。

7番、佐野一紀君。

○7番（佐野一紀君） この間の橋梁補修の長寿命化計画の中で、林友橋、予算化されていたと思

いますが、この予算書の中にはどこにも出てきていない。それでどこになるだろう、需用費のうちの修繕料21万6千円、これじゃちょっと安いかな。林友橋、それとも復活予算としても上がってきますよね。どこに出ていますか、お聞きします。

○委員長（木村一俊君） 産業建設課長、岩谷健悟君。

○産業建設課長（岩谷健悟君） お答えいたします。林友橋の調査におきましては、75ページの橋梁維持費の中の13節、委託料、調査・測量・設計委託料の中に含まれております。

この中身といたしましては、林友橋の実施設計委託1155万、橋梁の法定点検1890万、合わせて3045万といった内容となっております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑はありませんか。

4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） 歳入の説明があったかと思えますけど、77ページの8款、土木費、3項、住宅費、1目、住宅管理費の15節、工事請負費、社会資本整備総合交付金工事、これについて詳細に説明願います。

○委員長（木村一俊君） 産業建設課長、岩谷健悟君。

○産業建設課長（岩谷健悟君） 77ページ、8款、3項、1目、15節、工事請負費の中の社会資本整備総合交付金工事ということで1687万円計上させていただいております。これにおきましては、千歳村営住宅の1棟4戸の外壁等の改修工事を行う予定で予算を計上させていただいております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（木村一俊君） それでは次にまいります。79ページ下段から92ページにかけての10款、教育費についての質疑を受けたいと思います。質疑はありませんか。

5番、山本敬介君。

○5番（山本敬介君） 80ページ、10款、教育費、1項、教育総務費、3目、義務教育振興費、1節、報酬の中の占冠村いじめ問題審議会委員報酬5万1千円と占冠村いじめ調査委員会委員報酬1万3千円と、この2つの委員、人数、開催の予定等の詳細についてお聞きします。

続きまして89ページ、10款、4項、社会教育費の中の1目、19節の一番下から3番目、巡回小劇場の補助金で30万円、巡回移動小劇場の補助金で7万6千円とありますが、この移動と移動じゃないのとありますが、この2つについて説明をお願いします。

次に、92ページ、10款、教育費、5項、保健体育費、2目、給食推進室、20節、扶助費、準要保護児童生徒給食費74万9千円とあります。これについての詳細についてお願いいたします。以上です。

○委員長（木村一俊君） 教育次長、伊藤俊幸君。

○教育次長（伊藤俊幸君） 80ページの義務教育振興費のいじめ問題審議会委員報酬につきましては、委員は10人でございます。いじめ調査委員会委員報酬につきましては5人分を計上しております。これにつきましては、いじめ等が発生した場合、調査を行う際の委員会となっております。

巡回小劇場の関係についてはちょっとお時間ください。

92ページの準要保護児童生徒給食費の扶助費につきましては、低所得者への支援として給食費の部分で助成、扶助しているものであります。

○委員長（木村一俊君） 引き続き答弁ください。

○教育次長（伊藤俊幸君） 89ページの巡回小劇場補助金30万円につきましては、小学生・中学生

をメインとした文化・芸術鑑賞事業の実施にかかる補助金でありまして、巡回移動小劇場補助金につきましては、保育所の園児向けの事業ということでもあります。以上です。

○委員長（木村一俊君） 5番、山本敬介君。

○5番（山本敬介君） 先ほどの件、80ページのいじめ問題の審議会と調査委員会ですか。これは両方ともいじめ問題が何か起こったときにできるものなのか、それを予防するための議論などはないのかってことです。

あと10人と5人ということでしたが、可能な範囲で構成員と、この5人と10人は重なっているのかどうかをお聞きしたいと思います。

92ページの準保護児童の給食費ですね、特定できない範囲で人数をお教えいただければ、人数をお知らせください。以上です。

○委員長（木村一俊君） このままの状態を暫時休憩いたします。

休憩 午後2時45分

再開 午後2時46分

○委員長（木村一俊君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

教育次長、伊藤俊幸君。

○教育次長（伊藤俊幸君） 80ページのいじめ対策問題の関係ですけれども、いじめ問題審議会につきましては、いじめの予防等に関する対策等について協議をする委員会でありまして、いじめ調査委員会については、いじめ等の事件が起きたときにそのことについて調査等をする委員会であります。

委員の構成については、審議会と調査委員会の議員は別であります。

準要保護の給食費の扶助費の関係ですけれども、ここで積算している人数につきましては一応14人分ということになります。

○委員長（木村一俊君） 5番、山本敬介君。

○5番（山本敬介君） 先ほどのいじめ問題の件

で、決まっていれば誰が委員になるのかってことを教えてください。

○委員長（木村一俊君） このままの状態を暫時休憩します。

休憩 午後2時47分

再開 午後2時50分

○委員長（木村一俊君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

教育次長、伊藤俊幸君。

○教育次長（伊藤俊幸君） 平成27年度については、委員会等は開催していませんけれども、委員の構成として考えているのが校長会とかPTA連合会、民生児童委員、子ども会育成協議会委員、学識経験者とか、これについてはいじめ問題審議会の方の委員でありますけど、そういったメンバーを考えております。いじめ調査委員会については、弁護士、専門知識を有する人ということで考えております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 山本議員からいじめが起こってからじゃなくて、起こる前の予防について、予防対策については考えていないのかっていう質問があったと思うのですが、それに対する答弁を。

○教育次長（伊藤俊幸君） 予防に対する対策につきましては、いじめ問題審議会の方で協議をしていくという考えであります。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑ありますか。

5番、山本敬介君。

○5番（山本敬介君） 今のいじめ問題審議会の件ですけれども、平成27年度は開催されていないということだったので、予防について話がされていなかったということになると思いますが、次年度はどういうことになるのかということをお教えください。

○委員長（木村一俊君） 教育次長、伊藤俊幸君。

○教育次長（伊藤俊幸君） 次年度ですね、いじめ問題審議会の方について開催していきたいと考

えております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑ありませんか。
4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） 79ページの10款、教育費、1項、教育総務費、2目、事務局費、7節、賃金、臨時雇上賃金が370万円ほどで今年は多く計上されています。これの内容についてお尋ねいたします。

もう一点は、81ページ10款、1項、3目、義務教育振興費、13節、委託料。これ、学校医、学校歯科医業務委託料の支出、以前は報酬でしたけども、委託料に変更した理由についてお伺いいたします。

○委員長（木村一俊君） 教育次長、伊藤俊幸君。

○教育次長（伊藤俊幸君） 79ページ、事務局費の臨時雇上賃金でありますけども、これにつきましては英語指導助手の賃金です。

あと委託費です。81ページの学校医業務委託料と学校歯科医業務委託料につきましては、平成27年度までは報酬の方でみていたわけでありまして、学校医や歯科医につきましては常勤嘱託職員であります。ということから、今まで報酬等を払っていたわけでありまして、村の職員ということで報酬を廃止しまして、その分診療所経営に影響を与えることを考慮しまして、委託料として診療所と歯科診療所の方に支払うこととしました。以上です。

○委員長（木村一俊君） 最初の答弁がちょっとわからなかったもので、もう一度繰り返してもらっていいですかね。増額となった理由が。

教育次長、伊藤俊幸君。

○教育次長（伊藤俊幸君） 臨時職員の賃金は4万円くらいの増額ということでありまして、これにつきましては常勤嘱託職員の定昇分であります。

○4番（長谷川耿聰君） （着席のまま）聞こえない。もっと大きい声で自信持って。

○教育次長（伊藤俊幸君） 賃金につきましては4万円程度の増額ですね。

○4番（長谷川耿聰君） （着席のまま）その理由を。どうして4万円なの。

○教育次長（伊藤俊幸君） これにつきましては常勤嘱託職員の賃金、毎年昇給しておりますので、それにかかる部分で増額となっております。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

◎議案第21号（歳出12款から15款）

○委員長（木村一俊君） それでは次にまいります。92ページの下段から94ページにかけての12款、公債費、13款、諸支出金、14款、職員費及び15款、予備費についての質疑はありませんか。

5番、山本敬介君。

○5番（山本敬介君） 一点のみお聞きいたします。93ページの13款、諸支出費、1項、普通財産取得費、1目、土地取得費の公有財産購入費で土地購入費26万3千円、防災避難路の用地ということでお聞きしましたけども、金額も少ないですから、どこのどういった買収なのかお聞きしたいと思います。以上です。

○委員長（木村一俊君） 総務課長、田中正治君。

○総務課長（田中正治君） 土地取得費の土地購入でございますけども、昨年設置いたしました防災避難路、実はこちらの出入り口のところがお寺の所有地となっております、今は建設時にお借りをするということで契約を締結しまして、工事をさせていただきました。

永久に使う用地でございますので、平成28年度において購入をさせていただきたいということで申し入れをさせていただきまして、了解を得られましたので予算計上させていただいたという経過でございます。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑ありませんか。

4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） 92ページの12款、公債費、1項、公債費、1目、元金、23節、償還金、利子および割引料で、ちょっと調べてみましたら平成26年度の予算では2億899万7千円、平成27年度は2億2230万6千円、本年度は2億5185万8千円と順番に増加しております。これにつきましては臨時債の償還開始だけの理由なのか、他に原因があるのかそれについてお伺いしたいと思えます。

○委員長（木村一俊君） 総務課長、田中正治君。
○総務課長（田中正治君） 起債に関わる償還金であります。起債につきましては、基本的にいつも申し上げて申し訳ないのですが、過疎対策債、臨時財政対策債、これが主力でございますというお話をさせていただいております。

これの償還が過疎対策債もちろん始まっていますし、臨時財政対策債も償還が始まっています。元金償還で臨時財政対策債が平成13年度の借入れ分から始まっておりますけれども、平成24年度までの償還がすでに始まっております。臨時財政対策債、借入額が大きいということもありまして、元金の償還金についてはどうしても大きな金額になるということがございます。

加えて、起債はなるべく有利な起債ということで、過疎債を使っているというのもありまして、そういったことを含めてでそれらの償還金が大きいというふうに思われます。

一方、他の起債につきましては減少傾向にありますけれども、償還期間があるものがありますので、どうしてもそういったものも残っているということもあって、議員言われるように大きな要素としては、臨時財政対策債が大きな要因だというふうに私どもも考えております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑ありませんか。
（「なし」の声あり）

◎議案第21号（全般）

○委員長（木村一俊君） それでは一般会計予算全般に渡っての質疑を受けたいと思います。1ページから107ページ、全体的に質疑を受けたいと思います。

4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） 全体的ということなので、こだわるようですが自然保護の関係がどうしても気になるものですから、サトウカエデ、これについてははっきり言って今の説明ではよくわからない、生態系に影響するかしらないかということもはっきりわかっていないということです。

村長の答弁によりますと、東大演習林に大きな木が3本あるけども、現在それはあまり悪さしている傾向にないということですが、私は改めてこういう外来種を植えるときに実際に在来種がない場合は別として、改めて外来種を入れる場合は、こういう問題は絶対に他の生態系に影響しないという確信のもとでやられた方がいいと思います。私はこういうものを試験的に栽培することについては、率直に言って反対したいというふうに考えております。

もう一点ですけど、昨日も今日も問題になりましたトマム給油所の問題ですが、これは多額な委託料がかかっているわけがございますけれども、これの工事費の内訳について詳細にご説明願いたいと思います。この二点をお願いいたします。

○委員長（木村一俊君） 村長。

○村長（中村 博君） サトウカエデの木でございますが、植栽する計画の段階で北海道に問い合わせ、安全性については問題ないという回答は得ていますし、実際に街路樹として使われていると、そういう例もあるという話をお聞きしていますので、これはニセアカシアとは別ではないかと考えて予算計上しております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 商工観光担当主幹、後藤義和君。

○商工観光担当主幹（後藤義和君） 長谷川議員
のご質問にお答えします。

工事の詳細な内容についてでございますが、先
ほど名称でご説明申し上げましたけどもその内容
についてご説明いたします。

計量器の交換工事につきましては、故障の際の
部品が調達できないということが事前に分かって
おりますので、営業開始前に取替えが必要となっ
ております。これは必ず必要なものとなっております。
内容につきましてはノズルが2本、これが
2基、それから灯油の高速給油機、これが1基、
合計3基となっております。

それから油面計の設置工事、こちらが油漏れの
日常のタンクの容量の把握に必要で、事務所内に
設置する工事となります。

それからポス設置工事。

○4番（長谷川耿聰君）（着席のまま）金額も、
金額も一緒に。

○商工観光担当主幹（後藤義和君） 金額ですが、
ただいま手元にあるものは見積り金額となってお
りまして、工事の際はこれが適用されるかわから
ないですけども、計量器につきましては375万
8千円、油面計につきましては119万2千円、ポ
ス設置工事につきましては411万円。

こちらのポス設置につきましては、機器の設置
がちょっと、ランニングコストが変わってくる影
響もありまして、特定の機械は選定しておりませ
ん。

それから諸経費の計上が48万5千円となってお
ります。以上です。

○委員長（木村一俊君）他に質疑ありませんか。
4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） サトウカエデですか、
道の方でもって試験が何かされて、実際に安全だ
ってという結論だと思いますけど、外来種を持って
きて安全・安心だっていうような問題はなかなか
難しいと思います。道の方で何を対象にしてこの

サトウカエデが安全だと、生態系に影響がないの
だと、その根拠が私分らないのです。それより
もむしろここで生育しているイタヤカエデを今後
生育させたら、植林や何かして生育した方がいい
のではないかと思います。

その安全であるという根拠が分らないうちは、
ここへ導入するというのは、私ははっきりいって
賛成できない。だからその根拠を示していただき
たいと思います。

○委員長（木村一俊君） 中村村長。

○村長（中村 博君） ちょっと正式な名前かど
うか定かではございませんけど、特定外来種、そ
ういふものには指定されていないと認識でありま
す。

それから、もちろんカエデの樹液を採取するの
にサトウカエデの方が、糖分が高い、これは本に
書いてありますけど、そこはイタヤカエデとサト
ウカエデ、どの程度成分量が違うのか、そういつ
たことをまだ実際に試験しておりませんので、そ
ういったこともちょっと知りたいというところでは
あります。

ただ長谷川議員が心配されることは、私たちも
検討段階でも本当に心配して、道の方にも問い合
わせたり北大演習林にもお聞きしたりして、混雑
して新しいものが出てくるとか、そういったことは
心配ないと判断しての今回の予算計上でございま
す。

ですから、全部が全部、サトウカエデに変える
気持ちはありませんし、先ほど課長が説明したよ
うに山には植えない。採取しやすいような場所に
しかやるとしても植えない。管理しやすいような
場所にしか植えない。今のところそういう計画では
ございません。以上です。

○委員長（木村一俊君） 4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） どうも不安定、不確定
要素が多聞にありますけど、山に植えないからつ
て言ってもこれは実がなりますよね、木だから。

これを鳥が持って行って山に植えるかもしれないですよ。だから街路樹だから心配するなっていうそういう論理は成り立たない。

それで実際問題として、本当にこれが生態系に影響するかしらないかっていうのは未知数であると思います。そのへん十分検討しながらやらないと、どこでどういうふうな、外来種ってやつはとかく息の長い丈夫なものですからね。そういうことをよく検討しないとまずいと思います。まあ、北大に聞いてみたり、それからいろいろなところ、道に聞いてみたりしたら大丈夫だっていいですけど。実際に道でも試験したわけでもなければ、外来種に認定されていないからいいっていう理論にはならないと思います。そのへん、私非常に心配しています。

これは答えいらないです。終わります。

○委員長（木村一俊君） 答えがいらないということで、他に質疑ありませんか。

ないようですので私からも若干質問させていただきたいと思います。ここで副委員長と交代させていただきます。

しばらく休憩いたします。

休憩 午後3時14分

再開 午後3時15分

○副委員長（大谷元江君） 休憩前に引き続き会議を開きます。質疑を続けます。

2番、木村一俊君。

○2番（木村一俊君） 二、三点お聞きしたいと思います。

23ページ、16款、財産収入、2項、財産売払収入、1目、不動産売払収入、2節の立木売払収入のところ、先ほど五十嵐議員からも質問があったところですが、いまオホーツクだとか苫小牧の大規模木質バイオマス発電により間伐材の売値が高騰していると聞いております。今回、予算増額になっていますが、単価のアップによるものなのか、間伐材の収穫量が多くなったことによるものなの

か、どういう状況なのか、そこをお聞きしたいと思います。

それと、この間伐材の材が木質バイオマス組合に行って薪に使われているのか、あと67ページにあります村の木活用事業委託料にもこの材が使われているのか、そのへんの確認をしたいと思いますので答弁をお願いします。

それから36ページから38ページにあります2款、総務費、1項、総務管理費、7目、企画費にあります地域おこし協力隊のことであります。この点についても、先ほど山本議員からも質問があったと思うのですが、企画費からの地域おこし協力隊部分の支出、いろいろなものを足しますと2676万2千円ということ。そして林業振興費からの支出は1023万4千円ということで、この地域おこし協力隊については国費からの収入があるということで聞いていますが、結局これだけうちが支出してどれくらい国から入るといえるのか、うちからの持ち出し分、それがどれくらいあるのか、そのへん大体で教えていただければと思います。

それから6款の林業振興費での地域おこし協力隊につきましては、予算書とかの説明に名前があまり出てきていなくなっているの、臨時職員化している傾向なのかなって感じはしますよね。今年か来年かは知りませんが、猟区管理運営体をこれから作っていかうという話ですが、これが臨時職員化しているということからも関連して、直営、直轄でこの管理運営体をやっていかうという考えなのか、そのへんについてお尋ねしたいと思います。

それから55ページの4款、衛生費、1項、保健衛生費、1目、保健衛生総務費、19節、負担金、補助及び交付金のところですが、何回か聞いたことがあります。訪問看護サブステーション会費70万のところ、村の訪問看護を頼むために社会医療法人北海道総合在宅ケア事業団に払う会費が70万ということですが、これは訪問看護の状

況がどんなふうになっているのか、まずお聞きしたいと思います。

そしてこの訪問看護だとか、訪問医療だとか、訪問介護こういうのを含めて、やはり村の医療・介護を統括していくのが地域包括支援センターということで行われようとしているわけなので、はたしてこの会費が意味のあるものなのか、もしないのであれば70万もするので退会してはいかがかなというような感じを受けます。

あと37ページ、2款、総務費、1項、総務管理費、7目、企画費、13節、委託費にあります顧問弁護士の委託料が前年と同額計上されているわけです。今年のご存じのように調停があるわけなので、前年と同額の計上でいかなものか、そのへんの考えをお聞きしたいと思います。

それから最後ですけど、平成27年度にいただいた予算関係の資料、その他予算関係資料というところの7ページに農林業費のニウキャンプ場、業績がかなり良好になっていますが、前年より25万円ほど委託料が下がっていますが、委託料としてはキャンプ場自体が250万円下がっている。前年より委託料としては180万下がっているので、せっかく今お客さんも増えて頑張っているところなので、このへんを下げないで、もうちょっと頑張ってもらって力を付けるまで。そのへんの考えをお聞きしたいと思います。以上です。

○副委員長（大谷元江君） 村長。

○村長（中村 博君） 木村議員の質問の中の林業振興室の地域おこし協力隊の関係でございますが、執行方針の中でも猟区のことを言っていて、準備期間の2年が経過するので、今後の管理運営主体の具体的な検討を進めたいと方針の中で申し上げます。

これは協力隊のことも絡んでございまして、これからエゾシカ対策で地域相互交流協定を結んでいる酪農学園大学、それから道等、内容を意見交換しながらどういう形で猟区を運営していくか。

それに加えて自然環境、自然の保全という観点からも道の力を得られないか検討してまいりたいと、秋頃までにはひとつ結論を出したいなとは思っております。

○副委員長（大谷元江君） 地域おこし協力隊の経費、国費について村の持ち出しについての答弁をお願いいたします。

総務課長、田中正治君。

○総務課長（田中正治君） 地域おこし協力隊の国費の考え方でございますけども、基本的には特別交付税で予算を見ますよということで、国としては1人につき400万円、賃金が200万円、活動費として200万円、車だとか住宅だとか。ですからそれらを含めて1人につき400万円を見ますよということでございますので、平成27年度実績でいけば、5人ですから2千万という数字が成り立ちますが、特別交付税の交付額の内訳に地域おこし協力隊員分という明細書が付いておりません。

したがって2千万入っているかどうかは確認できませんけども、基本的に特別交付税が増えているところを見ると、その経費が含まれているということは事実として捉えられるかと思えます。金額の詳細については、確認は取れないということも片方ではあるということです。以上です。

○総務課長（田中正治君） 平成28年度は7人になりますので、400万円の7人、2800万円これが可能性としてはあるということです。

○副委員長（大谷元江君） 産業建設課長、岩谷健悟君。

○産業建設課長（岩谷健悟君） まず23ページで、財産収入、財産売却収入で16款、2項、1目、2節、立木売却収入で見込んでいる部分につきましては、議員おっしゃっているとおり単価自体も若干アップしております。今回見込んでいる部分については、材積等も増えてきていることと単価も若干アップして見込んでおりますので、金額も増えているといった部分であります。

あと村の木活用事業につきましては、カエデ樹液の関係となりますので、特に材の関係についてはないのかなど。

木質バイオマス生産組合の原料供給は、ここで計上しているのとは別になっております。

それとその他予算関係資料でキャンプ場の委託料で、平成28年がこの中で予算が減っているのではないかという関係でございますけれども、キャンプ場は指定管理を行っておりますので、630万円ということで指定管理を行っておりますので、その金額について変わりはありません。以上です。

○副委員長（大谷元江君） 保健福祉課長、小尾雅彦君。

○保健福祉課長（小尾雅彦君） 55ページの4款、1項、1目、保健衛生総務費に計上されております19節、訪問看護サブステーション会費70万円の計上ですが、これにつきましては北海道在宅ケア財団とのやり取りにはなりますが、従前までは村内では1人の方の利用実態がございました。昨年からもう1人訪問介護が付与されるということで、現在2人の利用実績があるわけですが、確かに議員ご指摘のとおり会費70万円と高額です。これにつきましては沿線自治体、あと道内の自治体同様にこういうケア財団の構成でこの組織が成り立っているという実態もあるものですから申し合わせ事項の実態にもございます。

あと地域包括支援センターとの連携が考えられないものかというご指摘であります。おのずとケア財団の支援と地域包括支援センター、うちでいう保健師の対処も合わせて実施しておりますので、それぞれに今後におきます訪問介護の連携を十分果たしていきたいという任務で住民との接点も持っておりますので、今後においてもそういう支援を続けていきたいと思っております。以上です。

○副委員長（大谷元江君） 副村長、堤敏満君。

○副村長（堤 敏満君） 弁護士の委託料につい

てお答えをさせていただきたいと思います。今の弁護士の委託料につきましては、顧問料と調停にかかる委任料の2つで組み立てていまして、通常の顧問料につきましては前年同額の2万7千円で、12カ月分ということで予算計上しております。

それから今回の調停にかかります委任の弁護士委託料につきましては、12月4日付けで新たな委任契約を締結いたしまして、着手金についてお支払いをしております。それからあとは成功報酬等についての予算措置ということになりますので、前年同額とさせていただいた経過がございます。以上でございます。

○副委員長（大谷元江君） 他に質疑ありませんか。

（「なし」の声あり）

○副委員長（大谷元江君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

委員長と交代するため、しばらく休憩いたします。

休憩 午後3時31分

再開 午後3時32分

○委員長（木村一俊君） 休憩前に引き続き会議を開きます。

これから討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（木村一俊君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから、議案第21号、平成28年度占冠村一般会計予算の件を起立により採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○委員長（木村一俊君） 起立多数です。お座りください。

したがって本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第22号

○委員長（木村一俊君） 次に議案第22号、平成28年度占冠村国民健康保険事業特別会計予算の件を議題とします。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。
4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） それでは五点ほど質問させていただきます。

まず国保の7ページ、国民健康保険税の関係でございますが、課税対象者、一般被保険者と退職者がありますけど、これの1節の分だけでよろしいです、これの税率関係を説明願います。それと課税対象者ですね。

次に1款、国民健康保険税、1項、国民健康保険税、1目、一般被保険者国民健康保険税の中で、予算総額が平成26年度では2072万7千円、平成27年が2198万8千円、今年度は2338万円と、毎年130万円ほど増加しております。この要因を担当者はどのように分析されているか、またその対応についてどのように考えているかお伺いいたします。

次に国保8ページ、3款、国庫支出金、1項、国庫負担金、1目、療養給付費負担金、1節、現年度分、前年比91万円の増加予算であるが、前年の療養給付費負担金から見れば1500万円の当初予算が4号補正では802万円ですか、増やされています。本年度1530万円となっているが、これで大丈夫かお伺いいたします。

次に国保10ページ、8款、繰入金、1項、1目、一般会計繰入金、1節、2節の保険基盤安定繰入金ですか。前年度より保険税軽減分で120万円、保険者支援分で130万円が増えているが、その内容の説明と増加の要因を教えてくださいのと、本年度は国保財政調整基金繰入金がないのか、これについてもお伺いいたします。

次に国保15ページ、2款、保険給付費、2項、高額療養費、1目、19節、負担金、補助及び交付

金で、前年度は780万円の当初予算で、2号では309万2千円、3号では208万5千円という多額な補正がされておりますが、本年度840万円の予算で大丈夫でしょうか。840万円を算出した根拠を示していただきたい。これについてお伺いいたします。

簡単にお答え願います。

○委員長（木村一俊君） ここで午後3時50分まで休憩いたしたいと思います。

休憩 午後3時37分

再開 午後3時50分

○委員長（木村一俊君） 休憩前に引き続き会議を開きます。休憩前の長谷川議員の質疑に対する答弁をいただきます。

保健福祉課長、小尾雅彦君。

○保健福祉課長（小尾雅彦君） 国保会計に関して歳入からの質問でございます。

一般被保険者の国民健康保険税ですが、この予算を作成した際の平成28年度の予算額につきましては、一般被保険者の国民健康保険税で2338万円ということで、前年対比139万2千円増の状況です。

平成27年の10月末の調定額で収納率を一応97%で見込みまして、算出をしております。

この算出の根拠となるのは、国保の運協の平成27年度の議論の経緯ですが、この時点での対象者は330人ほどの被保険者数がありました。増加傾向にあるというご指摘も、これは外国人登録の方も含めての対処になりますから、一応増加の要因も外国人を含めると直近では35人ほど加入者も増えている状況でございます。そんな状況が年度内で増減するという状況にありますので、確かに税の異動も大きくなってきております。

税率ですが、これにつきましては所得割、資産割の応益割合で45.78%ということで、軽減措置も受けられる状況で算出しておりますが、所得割で100分の4.9、資産割で100分の38ということで

あります。応能割合の54.22%分ですが、均等割で1万6千円、平等割では世帯ごとに2万2300円という経費になります。

次ページの国保8ページ、療養給付費等の負担金ですが、これにつきましてもそれぞれの補正ごとに医療費の動向がございまして、増額措置をしているところですが、今回2301万円ということで、前年対比91万円の増の状況です。今回の療養給付費の負担金の計上は1530万ですから月額で割りかえしても127万5千円かけることの12カ月分ということになりますので、これも医療費の動向に合わせて各月の医療費の精算で補正対応は出てくるかとは予測されます。

あと補正で国保の財政調整基金の繰入ということの対処で特定の基金の繰入をしているという状況、補正でありました。平成27年の第3号で。この際には繰入金の措置が前年度からの繰越があったものですからその分で歳出の医療費を充当していたわけですが、特にそのへんの関連性は、今回財政調整交付金の対処で、医療費実態で歳入が賄われるということがございます。

続きまして国保10ページの一般会計繰入金、保険財政安定繰入金、保険税の軽減分でございます。これにつきましては一般会計の歳入でご説明したとおり、それぞれ430万と200万の計上ですが、これにつきましても保険料の軽減措置に対する支援率の改正によりまして算出されておりますので、7割、5割、2割の軽減世帯分の歳入がそのままここに計上されるということになります。

あと国保15ページの一般被保険者の高額療養費、これにつきましても840万の年度当初の予算計上ですが、当初予算では月額70万円ということで計上させてもらっていますので、今後の医療費の動向で、これは毎年のことですが、増加傾向にはあるということで、その際は補正で対応をさせていただきたいということでございます。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑はありません

か。

4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） 一点だけ。被保険者1人当たりの平均税額ですか、いくらか。

今回の説明は大変よくわかりましたので、最後にその一点だけお伺いいたします。

○委員長（木村一俊君） 保健福祉課長、小尾雅彦君。

○保健福祉課長（小尾雅彦君） 1人当たりの税額ですが、これにつきましては約5万5698円ということで、本村の分はなっています。これにつきましても、運協での議論も過去10年ほど据え置いているという状況にもありますので、こんなことを言うのもなんですが、平成30年の北海道との国保の事務移管に関しては均衡措置も必要かなどの前提もございまして、十分運協委員の各委員の議論も得て、平成28年度はこのへんの内容については、説明をさせてもらいながら議論をいただきたいと思っております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（木村一俊君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（木村一俊君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから、議案第22号、平成28年度占冠村国民健康保険事業特別会計予算の件を起立により採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○委員長（木村一俊君） お座りください。起立多数です。

したがって本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第23号

○委員長（木村一俊君） 次に議案第23号、平成28年度村立診療所特別会計予算を議題といたします。これから質疑を行います。質疑はありませんか。

4番、長谷川耿聰君。

○4番（長谷川耿聰君） 診療所7ページ、1款、診療収入、1項、外来収入、2目、トママ診療所診療報酬収入、前年より20万円の減額となっております。しかし、同じページの2項にその他診療収入、2目、トママ診療所諸検査収入、1節、諸検査等収入で20万円の増となっております。通常診療収入と検査収入は比例すると思いますが、これについてお伺いしたいと思います。

○委員長（佐野一紀君） 保健福祉課長、小尾雅彦君。

○保健福祉課長（小尾雅彦君） このトママ診療の形態につきまして、平成27年度、どうしても変則の診療所勤務体制がございまして、このような算出の計上になりました。

診療報酬収入と検査収入、片方が減額となり、片方が増額となることについてご指摘があるわけですが、これにつきましては、体制が従来どおりに、平成28年度から占冠診療所とお一人の所長さんがかね合って診療には従事するという形になりました。トママ診療所としてのリゾート関係の職員の方々のそういう諸検査というのも、見込めなわけではなかったとは思いますが、あくまで診療実態がまた新たに変わるという経緯もございしますので、そのへんをご理解いただいて、何とか患者さんに慕われる診療所体制を目指していきたいと思っております。以上です。

○委員長（木村一俊君） 他に質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（木村一俊君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（木村一俊君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから、議案第23号、平成28年度村立診療所特別会計予算の件を起立により採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○委員長（木村一俊君） お座りください。起立多数です。

したがって本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第24号

○委員長（木村一俊君） 次に議案第24号、平成28年度占冠村簡易水道事業特別会計予算の件を議題とします。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（木村一俊君） 質疑なしと認めます。これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（木村一俊君） 討論なしと認めます。これで討論を終わります。

これから、議案第24号、平成28年度占冠村簡易水道事業特別会計予算の件を起立により採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○委員長（木村一俊君） お座りください。

起立多数です。

したがって本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第25号

○委員長（木村一俊君） 次に議案第25号、平成28年度占冠村公共下水道事業特別会計予算の件を議題とします。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（木村一俊君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（木村一俊君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから、議案第25号、平成28年度占冠村公共下水道事業特別会計予算の件を起立により採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○委員長（木村一俊君） お座りください。

起立多数です。

したがって本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第26号

○委員長（木村一俊君） 次に議案第26号、平成28年度占冠村介護保険事業特別会計予算の件を議題とします。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（木村一俊君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（木村一俊君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから、議案第26号、平成28年度占冠村介護保険事業特別会計予算の件を起立により採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○委員長（木村一俊君） お座りください。

起立多数です。

したがって本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第27号

○委員長（木村一俊君） 次に議案第27号、平成28年度占冠村後期高齢者医療特別会計予算の件を議題とします。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（木村一俊君） 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

（「なし」の声あり）

○委員長（木村一俊君） 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから、議案第27号、平成28年度占冠村後期高齢者医療特別会計予算の件を起立により採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

（全員起立）

○委員長（木村一俊君） お座りください。

起立多数です。

したがって本案は原案のとおり可決されました。

◎議案第28号

○委員長（木村一俊君） 次に議案第28号、平成

28年度占冠村歯科診療所事業特別会計予算の件を議題とします。

これから質疑を行います。質疑はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(木村一俊君) 質疑なしと認めます。

これで質疑を終わります。

これから討論を行います。討論はありませんか。

(「なし」の声あり)

○委員長(木村一俊君) 討論なしと認めます。

これで討論を終わります。

これから、議案第28号、平成28年度占冠村歯科診療所事業特別会計予算の件を起立により採決します。

お諮りします。

本案は原案のとおり決定することに賛成の方は起立願います。

(全員起立)

○委員長(木村一俊君) お座りください。

起立多数です。

したがって本案は原案のとおり可決されました。

◎閉会宣言

○委員長(木村一俊君) 以上で本委員会に付託されました案件の審議は全て終了いたしました。

予算特別委員会審査の報告書の内容については、委員長に一任願います。

これで、予算特別委員会を閉会いたします。

閉会 午後4時07分